

幕末維新时期村落女性のライフ・コースの研究 (二)

——江戸周辺、武州荏原郡太子堂村の事例——

森 安 彦

目 次

はじめに——課題と方法——

一、村落女性五五名のライフ・コースの構成的記述と

そのグラフ表示 (以上前号)

二、村落女性ライフ・コースの統計的分析 (以下本号)

(一) 妻と夫の平均寿命

(二) 婚姻年齢と結婚期間

(三) 出産期間と子供数

(四) 晩年期の存在

(五) 離婚と再婚

(六) 婚姻圏

(七) 相続形態

おわりに——ライフ・コースの諸類型——

表 (第1表、第14表) ・ 図 (第1図、第3図)

二、村落女性ライフ・コースの統計的分析

前稿第一部では太子堂村村落女性五五人のライフ・コースを諸史料より構成し、それを記述し、同時にその内容をグラフで表示した。第1表は、その五五人の女性のライフ・コースを一覧表にまとめたものである。

本稿第二部では、これらのライフ・コースのデータを基礎に、問題別に統計的に分析し、ライフ・コースの類型

化を試みようとしたものである。

(一) 妻と夫の平均寿命

第2表は、太子堂村でライフ・コースの判明する五五人の女性のうち、没年の不明者一四人を除いた四一人の長寿順位の一覧表である。これによると、平均寿命は六六・九歳となり、約六七歳といふことができる。

最高長寿は八六歳であり、最低は三二歳である。八〇歳台は八人(二九・五%)、七〇歳台は二人(二九・二%)、六〇歳台は九人(二二・九%)、五〇歳台は七人(一七・〇%)、四〇歳台は三人(七・三%)、三〇歳台は二人(四・八%)となり、六〇歳以上が二十九人(七〇・七%)となっている。

これに対して、夫の寿命をみると、平均寿命は六四・〇五歳となり、約六四歳である。妻の六七歳に比較して三歳寿命が短いことになる。夫の最高長寿はみよ(七七歳)の夫である百姓松五郎の八九歳であり、最低は、てつ(五六歳)の夫百姓折右衛門の三五歳である。八〇歳台は五人(二二・一%)、七〇歳台は二人(二九・三%)、六〇歳台は一〇人(二四・四%)、五〇歳台は七人(一七・一%)、四〇歳台は五人(二二・二%)、三〇歳台は二人(四・九%)となる。妻の場合と比較すると、八〇歳台が妻八人に対し夫五人と少ないところが注目され、他は、ほぼ同傾向であることが指摘できる。また、妻八〇歳台の八人の平均年齢は八三・三歳に対し、この妻八人の夫の平均年齢は丁度七〇歳となり一三歳以上も妻が長寿である。ちよ八四歳と夫惣吉八四歳とが同年齢であるのは、すべて妻の方が長寿である。妻七〇歳台の一二人の平均年齢は七五・三歳に対し、その夫一二人の平均年齢は六六・一歳となり、その差は九歳妻の方が長寿である。妻六〇歳台の九人の平均年齢は六三・六歳に対し、その夫九人の平均年齢は六八歳となり夫の方が四・四歳長寿である。妻五〇歳台七人の平均年齢は五五・八歳に対し、その夫六人の平均寿命は六〇歳となり夫の方が四・二歳長寿となっている。妻四〇歳台三人の平均年齢は四五歳に対し、その夫三人の平均年齢は四六歳で

あり、夫の方が一歳長寿である。妻三〇歳台二人の平均は三五歳に対し夫は四四歳となっている（内一人は没年不明で除く）。以上のことから、妻の八〇歳〜七〇歳では、妻の方が夫より約一〇歳以上も長寿であるのに対し、妻六〇歳と三〇歳台では夫の方がいずれも長寿となっている。また、注目すべきことは、妻が長寿の場合は夫も長寿であるが、妻が五〇歳台、四〇歳台、三〇歳台と比較的短命である場合は夫も平均寿命が五〇歳台、四〇歳台と短命となっていることである。この相関関係をどう考えたらよいのであろうか。一つには、妻が短命である場合、残された夫は労働の過剰負担があったということはいえるのではないだろうか。

（二）婚姻年齢と結婚期間

第3表 A・Bは妻と夫の婚姻年齢と結婚期間を一覧表にしたものであり、Aは妻の結婚年齢を基準に早婚から晩婚へと順序で配列したものであり、Bは夫の結婚年齢を基準に、同じように早婚から晩婚へと配列したものである。妻の平均初婚年齢は二二・四歳、夫の平均初婚年齢は二七・四歳となり、その平均年齢差は夫が妻より五・〇歳年長であることが判明する。初婚における女性の最年少の結婚年齢は一五歳であり、最高年齢は三八歳である。再婚の場合は表示したように三六歳・四〇歳・四二歳の事例がある。

A表より女性五一人の結婚を年齢層に区分して考察するとつぎのことがいえる。まず一〇代の結婚年齢層は一五歳から一九歳までに一六人（三一・四%）おり、その平均結婚年齢は一八・〇歳である。この一〇代の妻に対応する夫の平均年齢は二六・四歳となり、夫の方が妻より八・四歳も年長である。例えば最年少一五歳の女性と結婚した男性の年齢は三三歳であり、一七歳の差が存在するのである。

二〇歳から二四歳までの二〇歳前半に結婚した女性は二二人（四三・一%）であり、もっとも層が厚い。この二〇歳前半に結婚した女性の平均婚姻年齢は二二・一歳で、女性全体の婚姻平均年齢二二・四歳とほぼ同じである。この

層に対応する夫の平均結婚年齢は二五・七歳で、その差は三・六歳である。

二五歳から二九歳までの二〇歳台後半に結婚した女性は一〇人（一九・六%）となり急激に減少している。平均結婚年齢は二六・四歳である。この層に対応する夫の平均結婚年齢は二八・二歳で、女性との差は一・八歳となっている。

三〇歳台の女性の初婚は三二歳が二人、三八歳が一人であり、相手の男性は再婚、再々婚の場合が目立ち、四〇歳台の結婚は女性の場合も男性の場合も再婚の事例が多い。

つぎに結婚期間をみると、平均結婚期間は三〇・三年間である。まず一〇代の女性と結婚した夫婦の平均結婚期間は三六・一年間と最も長く、ついで二〇歳台前半の女性と結婚した夫婦の場合は三三年間であり、離婚者四人も加えると二八・八年間となる。二〇歳台後半の女性と結婚した夫婦の結婚期間は二八年間となり、当然のことではあるが、早婚であればあるほど結婚期間は長期にわたるということができる。

つぎにB表を中心に男性の結婚年齢を基軸に考察してみることとしよう。

男性の結婚年齢の最少は一四歳であり、その妻の年齢も一八歳という若年結婚がみられる。また結婚年齢の最年長は初婚の場合で四二歳である。各年齢層ごとにとみると、一〇代で結婚するものは二人（四%）と女性の一人に比較すると極端に少ない。二〇歳台前半は二人（二四%）で、その平均結婚年齢は二二歳であり、この層の妻の平均結婚年齢は二〇・五歳であり、夫の方が、一・五歳年長となっている。

二〇歳台後半で結婚した男性は二人（四二%）であり、その平均年齢は二七・〇歳となり、これは男性全体の平均結婚年齢二七・二歳とほとんど同じであり、二〇代後半に男性の結婚年齢が集中していることが判明する。この層の妻の平均結婚年齢は二二・二歳であり、その差は四・八歳である。

三〇歳台で結婚した男性は一四人（二八%）で、その平均結婚年齢は三二・六歳であり、この層の妻の平均結婚年齢は二二・八歳であり、その差は九・八歳と大きく開いている。

ここで注目すべきことは、男性の結婚年齢を一〇歳台、二〇歳前半、同後半、三〇歳台と階層的に区分して、それに対応する女性の結婚平均年齢をみると、二〇歳、二〇・五歳、二二・二歳、二二・八歳とわずかに高くなっているが、いずれも二〇歳前半であるというに変わりなく、ほぼ女性全体の結婚平均年齢を示していることである。これをA表で比較すると、女性の結婚年齢が高くなると、男性の結婚年齢の平均値が高くなったことに對し、B表では、男性の結婚年齢が高くなっても女性の結婚年齢の平均値はほとんど変化していないということが判明する。このことから、結婚年齢では、男性側からは女性の年齢を意識して、女性の高年齢に對しては、男性も比較的高年齢に對応しているが、女性側からは男性の年齢は、ほとんど意識されていないということがいえるのではないだろうか。

（三） 出産期間と子供数

第4表は出産期間と子供数の相関関係をみたものである。それによると、出産期間のもっとも長い女性は二七年間であり、平均出産期間は一三・五年間である。出産年齢のもっとも若い女性は一六歳であり、最高年齢では四六歳で出産している。

子供数は全体で二四〇人で、その内訳は男子一一五人、女子一二五人でやや女子の方が多い。母親一人平均の子供数は四・五人で、男子二・一人、女子二・四人となっている。さらに子供の死亡は一・二人である。それ故、出産した子供の数から死亡した子供の数を差引くと、生存する子供の数は平均三・三人ということになる。

さて、一人の母親での最高の子供数は一人であり、当然のことながら、出産期間の長い女性ほど子供数が多く、出産期間の短い女性ほど子供数も減少している。子供一人しか出産しなかった女性は七人、子供を出産しなかった女

性が二人存在している。

出産した子供二四〇人中で五歳以下で死亡した五〇人の幼児死亡率をみると、二〇・八%であり、さらにその内訳をみると、男児は一一五人中の二六人で、その死亡率は二二・六%となり、女児の場合は一二五人中二四人で、その死亡率は一九・二%となり死亡率は男子の方が若干高いことが判明する。

ついで六歳から一〇歳までの子供の死亡率をみると、二四〇人中一六人であり、全体の六・七%にあたる。その男女別内訳をみると、男子は一一五人中の六人で五・二%、女子は一二五人中の一〇人で八・〇%となり、女子の死亡率が高くなっている。

すなわち、子供は五歳以下では男児の死亡率がやや高く、六歳以上では女子の死亡率が高くなっていることが判明する。子供達の生涯の形態を分類してみたものが第1図である。

(四) 晩年期の存在

妻の晩年期のメルクマークをどう設定するかは必ずしも簡単なことではない。

前号「村落女性五五名のライフ・コースの構成的記述とそのグラフ表示」では、夫の死亡後を晩年期と一律に設定した。しかし、これでは、結婚間もなく夫が死亡した場合、妻は比較的若い年齢で晩年期の範疇に入ってしまう難点がある(例えば二七歳は三三・五六歳が晩年期である)。

そこで、末子が一五歳となり、一人前の労働力として成長した段階以降を晩年期と捉えてみたが、これでは子供の出産のない女性には晩年期を設定することができない不自然さがある。

もう一つの考え方として、結婚した女性の平均寿命年齢六七歳以上を超えて生存した期間を晩年期と設定してみるのである。

以上三通りの晩年期を設定して、簡単にその動向について述べてみよう。

① 夫死亡後の妻の生存期間Ⅱ晩年期

第5表(A)欄がこの場合である。この晩年期に該当する女性は二一名存在しており、その女性の平均的ライフコースは二二歳で結婚し、三六年間の結婚生活を経て、五八歳の時、夫が死亡し、それ以降一七年間の晩年期をもって、七五歳でその生涯を終えている。

しかし、これはあくまで平均像であり、具体像は多様である。例えば五〇たかは結婚期間は二三歳から四二歳までの一九年間であり、晩年期は四二歳から八四歳までの四二年間の長期にわたるものから、二八ちよは結婚期間は二二歳から八二歳までの六一年間、晩年期は八二歳から八四歳までの二年間である。

この晩年期をどう過したかは、必ずしも充分には判明しないが、二一みよは息子兵蔵の妻ふさが三二歳の若さで三人の子供(九歳・六歳・四歳)を残して死亡したので、みよの晩年期六三歳から七八歳までは、これら孫の養育に終始したのである。

② 末子一五歳以降Ⅱ晩年期

第5表(B)欄がこの場合である。この晩年期をもつ女性は三三名存在しており、その晩年期の平均は四六歳から六六歳までの二〇年間である。この基準では、平均四六歳という比較的早い年齢で晩年期を迎えることとなる。

③ 平均寿命六七歳以上の生存期間Ⅱ晩年期

第5表(C-1)(C-2)がこの場合である。この晩年期をもつ女性は二二名であり、その平均寿命は八一・五歳となり、全体の妻の平均寿命六七歳より一四・五歳も長寿である。第5表(C-1)は夫との関係で、この晩年期を表示したものであり、夫がすでに死亡しているもの二一名(五二%)、夫と共存して晩年期を過すもの四名(一九%)、

途中で夫が死亡したものの六名（二九%）となり、八〇%以上が、晩年期には夫と死別している。

第5表（C-2）は、戸主・子供・孫との関連でみたものである。妻六七歳のときの戸主のあり方をみると子供世代が戸主となっているもの一〇名、夫が依然と戸主であるもの五名存在するが、そのうち二人は数年たらずで子供の世代へ戸主を移している。これより、妻晩年期の戸主の大半は、夫よりも子供世代へ移行しているのである。

つぎに晩年期における子供の存在をみると、二例を除いては、子供はすでに成人し、いずれも結婚している。この二例は、三九そやと五四くらの事例であり、前者では、次男大次郎は生涯独身であり、長女くわは嘉永四年（一八五二）で太子堂村から消失している。後者では次男圓五郎が病弱で弘化三年（一八四六）四〇歳で生涯独身のまま病没している。

晩年期における孫との関連でみると、未詳八名を除くと、一三名のうち、一〇名までが孫と同居し、孫は平均して二・三人存在している。孫のもっとも多い事例は八くわの六名である。

（五）離婚・離縁と再婚

第6表は太子堂村における離婚・離縁の状況を一覧表にしたものである。ここでは離婚とは夫婦関係を解消した場合であり、離縁とは夫や妻の死亡などにより、婚家や養子先の家との関係を解消した場合である。しかし、この区分は厳密なものではなく、同義語として使用されているが、ここでは一応分けてみた。離婚は大別して、①は嫁入婚型態における初婚の離婚と再婚の離婚とがあり、②は婿入婚型態における初婚・再婚の離婚がある。

以下、離婚・離縁について、その特徴を述べることにしたい。

① 嫁入婚における初婚の離婚

この事例は、もっとも多く一五事例存在する。その平均値的様相についてみると、離婚するまでの結婚年数は約七

年間である。すなわち、二〇歳から二七歳までである。結婚期間のもっとも少ないものは九か月しかない、てつ・隆吉夫婦の事例から、結婚期間のもっとも長いものは一八年間のやそ・磯次郎夫婦の事例がある。一〇代で離婚するものは二人、二〇代で離婚するものは八人、三〇代で離婚するものは五人となり、半数以上は二〇代で離婚しており、一〇代・二〇代を合計すると全体の三分の二を占め、三〇代の離婚は三分の一である。これによって初婚で離婚する場合は、結婚して比較的早い時期に実現しており、今日のような四〇代・五〇代になってからの高年齢離婚はみられない。

つぎに離婚夫婦の子供の存在と、離婚後における子供の引取者をみると、まず一五組の離婚夫婦で子供の存在してないのは八組であり、子供一人は四組であり、子供二人は一組、子供三人は二組である。太子堂村における一戸当りの平均の生存者子供数は三人であることからみても、離婚夫婦の子供数が極端に少ないことが判明する。後述するように、子供の存在しないことが離婚理由にもなっていることから、「子なきは去る」という思考方法が存在していることを窺わせる。しかし、子供を全然出産せず、離婚もしないで養子をとって、家を継続させている事例も存在しているので一概に「子なきは去る」が貫徹していたとはいえない。

さて、離婚した場合の子供の引取者、あるいは養育者であるが、婚家先の夫の家に子供を置いた事例が四件、妻が引取った事例が二件、夫と妻で子供を分け、俸は夫に引き渡し、娘は妻が引きつれて出て行くなみの事例が一件あるが、この事例では三年後になみが娘二人をつれて復縁している。

つぎにこれらの離婚理由を考えてみよう。理由を付した明確な離縁状が存在しているのは一件のみで他は状況によって判断するほかはない。

それによると(A)婚家ないし生家の窮乏によるもの、(B)子供の出産のないため、(C)夫婦仲が悪いため、(D)その他の四

通りが考えられる。

(A)の事例では、てつの場合があげられる。てつは一八歳で隣村下北沢村百姓熊次郎倅隆吉と結婚するが、翌年に離婚し実家へ戻った。一九歳でてつが戻ってきた実家では、父庄五郎はすでに死亡、母かつも生家へ去り、弟である三吉一二歳が独居していた。てつは、これから一〇年間、三吉が一二歳になるまで、三吉の面倒をみながら姉弟二人で過すのである。一〇年目の慶応四年（一八六八）てつは家出し、行方不明となり「欠落」人として探索されるがついに出現することはなかった。てつ「欠落」の理由として「内借等相嵩家出いたし候義ニも可有之哉」と記されている。てつ・三吉の兄弟は八人もいたが、四人が夭逝し、他の二人も幼くして消息不明となり、成人したのは結局、てつと三吉のみとなり、てつは二九歳で離村してしまったのである。てつが九か月で結婚を解消したのも生家の窮状を打解するためであったといえよう。

(B)の事例ではふみ・金五郎夫婦の場合をあげることができる。百姓亀次郎の長男金五郎は弘化元年（一八四四）二六歳でふみ二四歳と結婚した。しかし、二年の結婚生活を経過しても、子供に恵れなかった。そうこうするうちに金五郎の弟兵蔵は嘉永五年（一八五二）二〇歳で、ふみ二三歳と結婚し、兵蔵・ふみ夫婦にはあいついで子供が誕生した。すなわち、嘉永六年には長男兼吉が、二年後には次男辰五郎が、さらに三年後には三男鉄五郎がそれぞれ出生した。安政三年（一八五六）ふみは三六歳で、この家から出てしまった。亀次郎の家督は次男の兵蔵に引きつがれ、長男金五郎はそれから一〇年間、慶応二年（一八六六）まで独身でいたが、同年四八歳で当村藤右衛門の婿養子となり、佐吉の未亡人なみと再婚した。

(C)の事例としては、みち・行蔵夫婦の場合をみることができる。

「 離縁状

其元義我等不_レ応_二

心底_二及_二離縁_一候、以後何方江

被_レ参候共、可_レ為_二勝手_一次

第候、以上、

寅三月廿五日

行 藏

おみちとのへ」

この離縁状は、前半では、みちが「我等不_レ応_二心底_二及_二離縁_一候」として、夫の心に服従しない、自我の強い女性であるために離婚するという離婚の理由を明示したものである。このように理由を明示した離縁状は珍らしいものといふことができる。後半では、「以後何方江被_レ参候共、可_レ為_二勝手_一次第候」として、今後どこへ行き誰れと再婚しようとも自由であることを明記している。寅年は前後の状況から天保一三年（一八四四）のことと判明できるが、行藏がどのような人物かは不明である。名前からみて百姓とは判断しがたく、御家人級の者ではないかと推定される。このみちは、名主忠左衛門の妹であり、離婚した天保一三年のときは二五歳である。このみちは弘化三年（一八四六）一月二八日二九歳で死亡しているが、この死亡に際して作られた弘化三年一〇月「医師様御薬控」という史料が残されている。

その一節に、つぎのように記録されている。

「一、於みち事四ッ谷御旗本永田金平様御屋敷御側御奉公ニ寅年十月中相越五ヶ年目当年十月廿二日大病ニ付御駕籠ニ而参り、十一月八日十六日目ニ而相果刻限九ッ時頃ニ御座候、葬礼ハ同九日ニ御座候、寅廿九歳ニ而

相果申候、

すなわち、みちは行蔵と離婚した天保二三年一〇月には、四ッ谷に屋敷のある旗本永田金兵衛の「御側御奉公」に入り、それから五年経過した弘化三年一〇月二日に大病にかかり、駕籠で実家へ帰されたが、一六日目の同年一月八日に死去し、翌九日に葬礼が行われたということである。行蔵と離婚したみちは旗本の側室になったことがわかる。

(D)の事例では、はな・栄次郎夫婦をあげることができる。栄次郎は常次郎・はつ夫婦の唯一の子供であるが、万延二年（一八六二）二月一七日に一九歳で、上目黒村宿山組銀次郎娘はな一七歳と結婚した。花嫁のはなは近隣村々の若者に人気があったのであろうか、婚礼の夜八時頃に隣村若林村百姓権左衛門せき孫房次郎が酔ってやってきて、花嫁のはなに面会を申し込んだが断られると、再び真夜中の一二時頃になって、隣村三宿村年寄勘五郎弟金五郎を連れてきて、縁先にあがり込み騒いだ。騒ぎをとめようとして怪我人まででて、婚礼の宴会は大混乱となった。祖父久太郎は思いあまつて、この一件を代官所に訴願したが、数日後に房次郎と金五郎の兩人から詫状が届いて一件は落着いたようにみえた。しかし、このため栄次郎・はな夫婦は、しつくりせず、栄次郎は翌文久二年（一八六二）八月一日に家出をした。はなも同年婚家を離れた。栄次郎は翌文久三年二月、いったん帰村したが再度家出してしまった。

さて、つぎに離婚した人々が、その後どのような方向をたどったのであろうか。離婚した妻の場合は、まず自分の生家に戻り、しばらくして、再婚するなり、他所へ奉公にでるなりするのである。その具体的動向は第6表に表示したとおりであるが、注目すべき事例を一つだけ記しておきたい。

百姓兼次郎三女たきは、安政五年（一八五八）四月三日、二三歳で紀州添屋敷内高型勇次郎と結婚し、いわゆる武士の妻となったが、七年後の元治二年（一八六五）二月たきは二八歳で離婚し、実家に戻った。実家では老いた父兼

次郎が大病を煩い、そのため経済的に非常に苦しくなっていた。持高もたきが結婚した時から約七年間に激減し、四斗余からわずかに五升余という状況であった。たきは実家に戻って九か月後の同年一月に横浜港崎町（現在横浜市）松五郎店遊女屋の徳兵衛方へ奉公に出た。たきは遊女屋に下働きとして奉公にでたのである。離婚後にたどった一つの事例である。

② 嫁入婚における再婚の離婚

この事例は、わずか二例にしか過ぎない。とりは弘化元年（一八四四）三二歳で、銀次郎四一歳と結婚したが、銀次郎は再婚であり、とりも年齢からみて再婚の可能性も考えられる。さて、とりは武州多摩郡下谷保村（現在国立市）百姓万右衛門の娘であり、同年中に娘はつを産した。それから八年目の嘉永五年（一八五二）四月二七日とりと銀次郎は離婚した。とり四一歳・銀次郎四九歳であり、とりは八歳の娘はつを銀次郎の手許に残して、自分だけ生家の下谷保村万右衛門方へ戻ったのである。

銀次郎はとりと離婚した翌嘉永六年（一八五三）二月、三人目の妻はなと結婚した。このとき銀次郎五〇歳、はな三八歳であった。はなは江戸青山緑町（現在港区）多七店吉五郎の妹である。ところが結婚してから八年目の文久元年（一八六一）一月一〇日当主銀次郎が五八歳で死去すると、はな（四六歳）も一か月後の同年二月二九日には親元の江戸青山緑町家主銀次店吉五郎のもとへ戻っている。

太子堂村では銀次郎や栄助は再婚・再々婚をくり返しているが、相手の女性も三二歳、三八歳、四六歳などであり、これらの女性も相当の年輩なので初婚とはいいがたく再婚であった可能性が強い。このことは、当時男女共離婚しても再婚の機会が必ずしも少なくなかったといえるのである。

③ 離縁

夫が死亡したために離縁して生家に戻る事例は五件ある。この五件の夫婦の結婚期間の平均は一八年間であり、二五歳から四三歳までとすることができる。

夫が死亡したために生家に戻るといふ必然性は何であろうか。一つは子供が成長して、夫の家督を子供がつぎ、すでに子供世代が家の中心をなしている場合である。もう一つの場合は再婚の可能性をさぐるために婚家と離縁したのであろうか。

④ 婿養子の離婚

この事例は二件であり、一件はえつ一七歳が弦巻村百姓梅次郎弟竹五郎二七歳を婿養子とするが、わずか一年たらずで竹五郎は離婚され、翌年えつは、再び弦巻村百姓大次郎次男宇之助二八歳を婿養子とした。

もう一件は、百姓直次郎（森、四四番屋敷）未亡人かね三五歳が、同族甚兵衛（森、二七番屋敷）の三男万蔵二七歳を婿養子として迎えるが、これもわずか一年で離婚した。この間に生まれた娘なつ一歳は、離婚に際し万蔵が引取り、橘樹郡坂戸村百姓忠五郎の養女となった。万蔵自身も離婚してから四年目の元治元年（一八六四）江戸内藤新宿下町家主栄次郎店へ引越した。

最後に離婚者・離縁者その後の動向の一つの傾向を指摘すると、江戸の町方の者と再婚したり、江戸へ引越すなど、江戸志向が少なくないことである。例えば、きんは江戸鮫ヶ谷町家主勇次郎店忠次郎と再婚し、くわは下渋谷村百姓豊次郎と再婚したことなどはその一例である。

（六）婚姻圈

第七表は太子堂村における文化一二年（一八一五）から明治六年（一八七三）までの五八年間に判明する一一〇件の婚姻に関して、村内婚と村外婚とに大別して表示したものである。村外婚はさらに、江戸・他村から太子堂村に流入

した事例と、太子堂村から江戸・他村へ流出した事例とに分けてみた。以下この区分にしたがって検討してみよう。

①村内婚

村内婚は、二一件であり、判明する婚姻一一〇件の約二〇%である。

村内婚のあり方を明確にするためには、太子堂村における同族分布の状況を把握しておかねばならないだろう。

第8表は同族分布表（明治五年）であり、これによると、太子堂村は草分筋とよばれる堀江・森・浪貝・萩原・鎌田の五氏とそれ以外の八氏から構成されている。¹⁾中でも草分筋の筆頭は堀江氏であり、家数五〇軒中一六軒という最大の同族集団を構成している。ついで、森・浪貝・萩原の同族がそれぞれ七〇八軒の同族であり、鎌田は一軒のみである。名主・年寄（組頭）などの村役人は草分筋で独占し、特に堀江一族が大きな地位を占めてきたが、天保九年（一八三八）から、堀江にかわって森が名主役に就任した。

第2図は村内婚姻関係図を示したものである。これによると、同族内婚姻件数は堀江七件、森三件で、他にはみられない。堀江には他氏との間にも婚姻関係を多様にもっている。すなわち、堀江Ⅱ浪貝三件、堀江Ⅱ森二件、堀江Ⅱ鎌田、堀江Ⅱ萩原、堀江Ⅱ三河の各一件である。堀江について他氏との婚姻関係の多いのが浪貝であり、浪貝Ⅱ堀江三件、浪貝Ⅱ小窪、浪貝Ⅱ飛石の各一件である。また小窪Ⅱ飛石も一件あり、浪貝Ⅱ小窪Ⅱ飛石は三角形をなしている。森も堀江とは二件の婚姻関係をもっているが、この他はみられない。

②村外婚（江戸・他村・太子堂村）

この事例は婚姻一一〇件中四九件（四五%）であり、もつとも多い。特徴的なことは、隣接村ないし近村からと、江戸府内からの流入がみられることである。隣接村からは上馬引沢村から五件、下北沢村から四件、代田村から三件、若村から二件、中馬引沢村から一件である。近村からは上目黒村から五件、野沢村から二件、世田谷村から二件、

比較的遠村からは橘樹郡宮内村（現在川崎市）、荏原郡下沼部村（現在大田区）、荏原郡戸越村（現在品川区）、多摩郡下谷保村（現在国立市）などである。

江戸からの流入には、嫁入、養子、養女、扶養のためなど種々の理由があるが、とくに嫁入の場合、太子堂村の嫁入先の家は、いずれも農業経営から離脱し、農間余業を専業としている。四三はな（三八歳）は青山緑町（現在港区）多七店吉五郎妹であり、結婚相手は太子堂村銀次郎（五〇歳）であり、銀次郎は三度目の結婚であり、大山街道筋で貸家経営を行なっている。⁽²⁾ 四七なお（一九歳）は麻布北目下窪町（現在港区）家主半助娘であり、当村栄助（三二歳）と結婚したが、栄助は再婚であり、大山街道筋で菓子・草履・草鞋など旅人相手の商売を行なうとともに貸家四軒をもっていた。⁽³⁾ 五一そめ（二八歳）は芝新町（現在港区）の店借勝五郎二女であり、当村兼吉（二七歳）と結婚しているが、兼吉は三軒茶屋の一軒で「田中屋」という屋号で煮売茶屋を営んでいた。⁽⁴⁾ このように江戸府内の町方の女性が太子堂村に婚姻で流入した場合、結婚相手の男性は、いずれも農業経営から離脱した町方と同じ商業経営であることが注目される。

③ 村外婚（太子堂村→江戸・他村）

この事例は四〇件で、全体の件数の三六％である。ここでも、隣接村・近村・遠村・江戸府内となっている。隣接村では代田村三件、下北沢村・中馬引沢村・若林村などが各一件であり、近村では上目黒村三件、世田谷村二件、下馬引沢村・野沢村・深沢村・瀬田村・深沢村・弦巻村などの各一件がある。比較的遠村では、豊島郡中豊沢村（現在渋谷区）、荏原郡大森村（現在大田区）、同上沼部村（同上）、橘樹郡坂戸村（現在川崎市）などがある。例外的には、名主忠左衛門長男菊之助が江州（現在滋賀県）膳所藩本多家臣森保左衛門という武士の養子となっている。⁽⁵⁾ 江戸府内へ移出した場合は嫁入一四件・贅養子二件・引越一件などの事例がみられ、身分的には店借層と下級武士層への婚姻が

みられ、前者一〇件、後者四件である。

村の女性が江戸の店借層や下級武士層と結婚する事例は注目される。江戸は独身男性の人口の多いところであったが、幕末期になると女性人口も増加し、妻帯者の増加が指摘されているが、太子堂村にみられるように、江戸周辺農村は江戸町方への女性供給源的役割を果していたともいえる。

農民の娘が武士の妻となっている事例として、二九歳の三女たき（二三歳）は紀州藩家臣高梨久兵衛弟勇次郎と結婚したが、たきの兄は持高四斗八升余の百姓豊次郎（二五歳、七人家族）であり、決して富農ではないのである。しかし、前述のように七年後にはたきは離婚し、その後は横浜港崎町松五郎店へ奉公稼ぎにでているのである。たきの妹くにも江戸の町方の者と結婚しており、姉妹で町方へでているのである。

五みよ長女ぎん（二五歳）は元治元年（一八六四）吹上奉行支配麻布田嶋町岩崎雄之助（二八歳）の妻となっているが、ぎんの弟は持高一石六升余で太子堂村では上位高持層に属する百姓角次郎である。両者の関係は角次郎が万延元年（一八六〇）より岩崎雄之助家の下掃除（下肥）に出入したとにより発生したのである。五年後の明治二年には幕府の解体とともに雄之助は家族六人とともに太子堂村へ来住し、利右衛門借家で「筆工職」として生計をたてているのである。二三はつの二女すず（二六歳）は麹町在住の武士福島正好と結婚している。すずの父は当村名主忠左衛門である。

幕末期になると、幕藩社会の身分制は、このような婚姻形態の側面からも崩壊現象を示していたことがわかる。

以上の村外婚の婚姻圏を表示したものが第9表であり、それをさらに図示したものが第3図である。これによると婚姻圏の中心は一〇キロメートル以内にあり、生家と婚家との間を「日帰」りできる距離であることが判明する。

（七）相統形態

第10表は太子堂村における相統・襲名・隠居制度などを屋敷番号順に表示したものである。天保九年（一八三八）から明治五年（一八七二）までの三十四年間に六四件が判明している。

まず相統の原因であるが、六四件中三七件（五三%）までが被相統人の死亡であり、ついで一二件（一九%）が隠居であり、その他が離村によるもの五件、帰村によるもの二件、離婚・再婚によるもの二件などとなっている。

相統人の続柄をみると、長男三一件（四八%）、次男二一件（一九%）、贅養子二一件（一七%）、第三件、父二件、義父・義兄・甥など各一件となり、いずれも相統人は男性である。ここでは原則的に長男相統であるが、長男が死亡したり、離村したりしている場合は次男や贅養子が相統人となっている。父が二件相統人となっているが、これは他出していた父が帰村し、子供と交替して相統人となったのである。

相統人の年齢をみると、最年少は七歳が二人おり、ついで八歳が一人、九歳二人となり、一〇歳未満が五人もおり、父の死亡により幼児が相統人となっており、「家門改帳」では家族の筆頭人となっている。一〇代で相統人となっている者は九人、二〇代では一八人、三〇代では一四人、四〇代では一四人、五〇代では三人、六〇代では一人となり、最年長の相統人は六三歳である。これは百姓惣左衛門が七三歳で死亡し、養子桑次郎が六三歳で相統しているのである。相統人六四人の平均年齢は二九・八歳であり、約三〇歳といえることができる。このとき、被相統人六四人の平均年齢は五三・一歳である。

つぎに襲名の有無についてみると、隔世襲名が五件、代々襲名が二件存在している。隔世襲名というのは、例えば市郎左衛門と市郎兵衛を交代で襲名する事例であり、代々襲名というのは同一名、例えば利左衛門という名前を代々襲名する場合である。これらの襲名は草分筋では前名主与十郎（堀江家）、名主忠左衛門（森家）、年寄市郎左衛門（鎌田家）、百姓利左衛門（萩原家）、百姓栄助（浪貝家）などにみられ、このほか、百姓平七（大杉家）、市左衛門（早川家）

にもみられる。天保期以降の幕末段階のみでは、確定的なことをいうことができないが、襲名による家の継承意識は必ずしも強固であったとはいえないのではなからうか。

最後に隠居制度についてみると、隠居は一二件みられ、隠居する年齢は最年少で三五歳、最年長で七六歳となり、平均では五四・二歳である。すなわち三〇歳台一人、五〇歳台六人、六〇歳台三人、七〇歳台二人となる。三〇歳台で隠居する場合は、村役人であり不都合があつて村役人の退役と同時に隠居した事例である。隠居による相続した場合の相続人の平均年齢は三二・六歳となり、前述した相続人の平均年齢三〇歳より若干高くなっている。

以上により、幕末期の太子堂村では、平均年齢五三・五四歳で、三〇～三三歳の相続人へ世代交替していることが判明する。

おわりに——ライフ・コースの諸類型——

拙稿「幕末維新时期村落女性のライフ・コースの研究（一）」では、五五人の女性をとりあげて、成長期・結婚期・晩年期の三区分にしながら、そのライフ・コースを記述してきたが、本稿の分析結果を加えて、おわりに、これらの女性のライフ・コースの類型化を試みよう。

その類型化の基本は、これらの女性の出産した子供たちの存在、役割から判別しようとするものである。すなわち、出産した子供たちの中から、その家を継承する相続人が出現しているか、他家へ婿養子として入り他家を継承する者があるか、他家へ嫁入りする者があるか、あるいは、逆に自分の子供は存在せず養子をとって、はじめて家の存続が可能となるか等であり、これらを基準として、五類型に編成してみた。それ故、ここでは幼児で死亡した子供や婚姻・養子以外で離村した子供は含まれていない。

第一類型（A型）……相統人・婿入する者・嫁入する者の三者が存在。

第二類型（B型）……相統人・嫁入する者、または、相統人は未確定だが嫁入する者が存在。

第三類型（C型）……相統人のみで、他家へ婿入や嫁入する者が存在しない。

第四類型（D型）……相統人・婿入する者・嫁入する者などがすべて存在しない。

第五類型（E型）……他家から養子を得ることによって家を存続させている。

以上の五類型（A～E型）に基づいて、四九人の女性を分類し、一覧表に示したものが第11表、第14表である。

これによって、A型は五人（二〇%）、B型は一人（二九%）、C型は一人（三八%）、D型は七人（二五%）、E型は四人（八%）となる。すなわち、自家の相統のほか、他家への婿入や嫁入で他家の存在を維持している家はA・B型の一九人（三八%）で、相統人のみを確保している家はC型の一人（三八%）で、残りのD・E型の一人（二%）は相統人が存在せず、他家からの養子を得ることによって家を維持しているのである。しかし、このD型・E型の中から潰百姓が出現してくるのである。しかしこれらの類型はいまだ試論の域を出ないものである。

注

（1）太子堂村は幕府代官所三五石分と大名井伊領一石分と旗

本知行所二石五斗分の三給支配形態をとっており、この草

分筋五氏は幕府代官所三五石分であり、このほか井伊領一石分に、やはり草分百姓としての榎本氏がいる。ここでは

榎本氏については、史料がないので閑説できない。

（2）拙稿「幕末期の太子堂村——江戸周辺農村の構造——」

（東京都世田谷区教育委員会発行「旧荏原郡名主森家文書 太子堂村」

目録」一八九頁所収、昭和五六年）

（3）拙稿前掲書一八〇頁・一八七頁

（4）拙稿前掲書一八三頁

（5）森保右衛門は「森家過去帳」によると名主忠左衛門伯父となっており、先代より親戚関係にあった。同家の伝承によれば、近世初期の兵農分離過程で森家の一部は武士身分となり、一部は土着して百姓身分となったが、その後も両

者間は交流を維持した。

(6) 竹内誠「旧里帰農奨励と都市の雇傭労働」(徳川林政史
研究所『研究紀要』昭和五二年度)

△付記▽

本稿は前稿にひきつづき、松永静子・梅津陽子両氏のご協力をえた。ここに改めて深謝の意を表するものである。
なお、小稿と関連して、執筆したものに「宗門帳にみる近世女性のライフ・サイクル」(『歴史評論』一九八六年三月
号所収)があるので、併せてご参照下されば幸甚です。

の女性のライフ・コース一覧表

生				婚			
父・続柄	姓	屋敷	持高	夫の父・続柄・夫名	姓	屋敷	持高
百姓 与兵衛 長女	堀江	5	0.9石→0.8→1.0→1.3	(結婚期) 金治郎 伴 寅五郎 (28~60)	堀江	1	0.5石→1.2→1.1→0.8
船橋村 百姓 幸次郎 次女	遠藤			吉兵衛 長男 栄次郎 (22~62)	堀江	2	1.0→1.1→1.4→1.8
年寄 勝之助 長女	堀江	3	3.0→1.0→0.9→0.2→1.4	郎年寄 市郎左衛門 次男 恒次郎 (23~52)	鎌田	24	0.1→0.4→1.1→1.0
百姓 源右衛門 娘	萩原		0.1→0.08 株式売却 (元治2年)	郎・分家か? 藤ヶ谷村 百姓 久左衛門 伴 利右衛門 (31~71)	萩原	4	1.5→1.7→1.4
橋前郡坂戸村 百姓 龜右衛門 長女	金子	2		与兵衛 伴 兵藏 (25~48)	堀江	5	0.9→0.8→1.0→1.9→1.0→1.2
野沢村 百姓 七五郎 長女	田中	8		例 農閑余業 佐吉 (31~40)	堀江	6	0.7→0.1
同上				同上			
同上				(後夫) 百姓 龜次郎 長男 金五郎 (49~79)	森	20	1.0→0.9→1.2
上日黒村 百姓 安兵衛 長女	長崎	206		清五郎 長男 虎五郎 (27~75)	堀江	7	0.8→0.7→0.7
年寄 源兵衛 長女	堀江	3	3.2→1.0→0.2→0.4→1.0	清五郎 (24~59)	堀江	7	0.3→0.8→0.7→0.7
若林村 百姓 惣八 次女	河野	8		新之助 (35~53)	浪貝	8	1.1→1.0→1.1→1.8→
下北沢村 百姓 五郎左衛門 長女	伊東			象次郎 (27~56)	浪貝	9	0.7→0.6
百姓 吉五郎 次女	浪貝	9	0.7→→→0.6	百姓 鍋吉 (32~56)	堀江	10	0.4→0.2→0.4→0.5
百姓 吉五郎 長女	浪貝	8	1.1→1.3→1.8→2.1	年寄 喜之助 (20~64)	堀江	11	0.2→0.1→0.03→
下北沢村 百姓 源藏 長女	大野	8		百姓 松五郎 (25~89)	堀江	12	1.3→0.8→0.9→1.4
若林村 五左衛門 5女	中村			百姓 庄五郎 (32~56)	萩原	13	0.4→0.6→0.5→
下沼部村 仙藏 次女				百姓 権右衛門 長男 晋次郎 (24~69)	浪貝	14	0.8→0.7→1.0
百姓 万次郎 4女	堀江	17	0.9→2.0→0.7→1.3→2.2→3.6	吉兵衛 養子 七五郎 (34~54)	浪貝	15	0.1→0.3→0.1→0.2
上日黒村 百姓 六之丞 長女	関根			名主与十郎 次男 晋次郎 (23~74) 安政5年与十郎を襲名 [家号 亮崎(ウラキ)] 百姓 万次郎 長男 弥五郎 (29~83)	堀江	16	0.9→0.8→0.2→0.3→0.1→
百姓 吉兵衛 次女	浪貝	15	0.1→→→0.1	嘉永2年 又兵衛の株離 百姓 万次郎 3男 磯次郎 (27~87)	堀江	17	0.9→2.5→0.7→1.7→2.4→3.6
同上				百姓代 喜之助 長男 益之助 (35~76)	堀江	18	夫は後に青山へ引越 0.06→0.05→
野沢村 百姓 喜兵衛 3女				次兵衛 長男 久藏 (22~78)	堀江	11	0.2→0.1→0.03→
百姓九左衛門 長女	森	44	0.7→1.0→0.1→0.3	龜次郎 (27~73)	神田	19	0.5→0.2→0.5→0.2
百姓藤右衛門 長女	堀江	6	0.4→0.7→0.1→	龜次郎 次男 農・工 兵藏 (20~44)	森	20	1.1→1.0→0.9→1.2
世田谷村 百姓元右衛門 3女				年寄 次左衛門 長男 定吉 (21~67) 名主・忠左衛門	森	20	1.6→1.1→0.9→1.1
七之助 3女	小窪	35	0.4→0.7→0.4→	百姓 平七 伴 鉄五郎 (22~82)	森	21	1.5→2.0→0.6→1.1→1.0
百姓 万次郎 3女	堀江	17	2.0→0.8→1.7→2.5→3.6	百姓 市郎左衛門 伴 藏次郎 (31~51)	大杉	23	0.5→0.6→
				百姓 紋之助 (33~75) 夫は妻やすのいなくな った後再婚	鎌田	24	0.0822→0.43→0.11→ 0.4007→0.69→1.10107
				百姓 折右衛門 (20~35)	小窪	25	0.3→0.06→
				(家号 大上(おおかみ)) 百姓 惣吉 (23~84)	浪貝	26	0.8→0.7→0.8→0.9→
				百姓 久兵衛 伴 兼次郎 (14~64)	森	27	1.4→0.9→0.6→1.7→1.8
					萩原	29	0.4→0.1→0.05→

第1表 武州荏原郡太子堂村の55人

番号	名前(役年齢)	誕生～死亡	生涯の区分			子供		出産期間	
			成長期	結婚期	晩年期	出生数	死亡数	期間	年数
1	まさ(59+α)	文化11・1・11～明治5+α	1～19	19～52(33)	52～?	男・女 6・3	男・女 1・0	20～41	22
2	とよ(77)	文化9・9・10～明治21・5・30	1～24	24～64(40)	64～77(13)	0・1	0・1	42	1
3	しげ(47)	文政10・12・10～明治6・5・27	1～20	20～47(27)	なし	5・4	2・0	20～39	20
4	★とり(82)	文化10・ 　～明治27・2・25	1～23	23～63(40)	63～82(19)	3・5	2・0	24～41	18
5	みよ(76)	文政4・12・30～明治29・5・19	1～20	20～43(23)	43～76(33)	3・1	1・0	20～30	11
6	●なみ(53)	文政7・7・2～明治9・10・13	1～23	① 23～27離婚後 ② 31～38(7) ③ 44～53(9)	なし	3・3	1・0	23～37	15
7	とらち(84)	天保1・3・11～大正2・3・5	1～26	26～74(48)	74～84(10)	5・2	1・0	27～41	15
8	くわ(78)	文化1・6・10～明治14・3・30	1～25	25～59(34)	59～78(19)	1・1	0・1	26～37	12
9	とよ(76)	文化10・5・5～明治21・4・12	1～27	27～44(17)	44～76(32)	1・3	0・1	28～38	11
10	かね(83)	文化5・1・5～明治23・3・23	1～24	24～52(28)	52～83(31)	4・5	1・2	25～44	20
11	きよ(57)	文化11・ 　～明治3・6・7	1～19	19～43(24)	43～57(14)	1・6	0・0	20～39	20
12	そめ(67)	文化9・6・6～明治11・	1～24	24～67(43)	なし	2・1	0・0	25～31	7
13	みよ(77)	寛政10・9・10～明治7・11・27	1～18	18～77(59)	なし	0・2	0・1	19～38	20
14	かつ(74)	文化13・ 　～明治22・7・9	1～15	15～39(24)	39～42 45～74	5・3	3・1	16～39	24
15	くら(80)	文化5・3・10～明治20・3・4	1～19	19～63(44)	63～80(17)	3・3	0・1	20～41	22
16	えい(61)	天保7・4・8～明治29・3・2	1～22	22～61(39)	なし	2・2	0・0	22～33	12
17	よき(64)	文政12・12・2～明治22・5・25	1～20	20～64(44)	なし	3・4	0・2	20～39	20
18	もよ(65)	文政1・11・12～明治15・2・25	1～24	24～65(41)	なし	1・5	1・4	29～41	13
19	●やそ(42+α)	天保2・7・17～明治5+α	1～20	① 20～37(17) ② 40～?		1・2	0・0	20～26	7
20	つま(86)	文化14・11・15～明治35・7・28	1～19	19～75(56)	75～86(11)	3・1	3・1	20～37	18
21	みよ(78)	寛政10・6・1～明治8・12・27	1～17	17～63(46)	63～78(15)	2・4	0・2	18～44	27
22	ふさ(32)	文政12・ 　～万延2・5・5	1～23	23～32(9)	なし	3・0	1・0	24～29	6
23	はつ(75)	文化8・2・22～明治18・6・17	1～17	17～62(45)	62～75(13)	5・3	1・1	18～44	27
24	りせ(75)	寛政8・ 　～明治3・3・4	1～18	18～75(57)	なし	1・4	0・1	19～42	24
25	そめ(63)	文政10・6・16～明治22・6・21	1～26	26～56(30)	56～63(7)	0	0	0	
26	やす(31+α)	文政7・ 　～安政2+α	1～17	17～31(15)	不明	1・2	0・2	18～24	7
27	てつ(56)	天保1・2・3～明治18・10・2	1～18	18～33(15)	33～56(23)	1・4		21～33	13
28	ちよ(85)	文政9・12・25～明治42・1・9	1～22	22～83(61)	83～85(2)	5・4	3・0	22～40	19
29	さの(65)	享和3・ 　～慶応3・3・3	1～18	18～65(47)	なし	1・4	0・0	19～39	21

生			家		婿			家	
父・続柄	姓	屋敷 番号	持	高	夫の父・続柄・夫名	姓	屋敷 番号	持	高
百姓 兼次郎 3女	萩原	29	0.4→0.1→0.05→		江戸・肥州彦屋敷 高梨勇次郎	高梨			
宮内村					百姓 伝藏	萩原	30	1.4→1.5→1.7→	
百姓 新兵衛 長女					伴 安五郎 (30~73)				
					金次郎	飛石	31	0.3→0.2→	
					伴 茂次郎 (28~47)				
等々力村					百姓 利左エ門 伴				
百姓 熊次郎 長女					農・高 理左衛門 (27~61)	萩原	32	0.1→0.07→0.1→	
					天保1年理左衛門襲名				
					百姓 次三郎 (29~60)	井家村	33	0.05→0.07→	
下北沢村					百姓・高 久太郎	堀江	34	0.8→1.0→2.0→1.7→2.0	
百姓 猪五郎 3女					伴 常次郎 (28~77)				
					百姓 七之助 (27~72)	小窪	35	0.4→0.7→0.4	
					百姓 宇左衛門 (35~64)	萩原	36	0.6→0.7→	
代々木村					百姓 熊次良 (43~50)	浪貝	37	0.3→0.6→0.7→	
五郎右衛門 3女					後夫 佐右衛門 (30~?)	堀江	17	0.7→1.3→1.7→2.2	
					百姓 佐七 (28~81)	大杉	38	0.6→0.7→	
上馬引沢村	中山				吉藏 長男 仙松 (33~72)	三河	39	0.02→	
藏人 3女					百姓 藏次郎① (25~35)	森	40	0.9→0.4→0.01	
					同上 ② (41~49)				
下谷保村					同上 ③ (50~58)				
百姓 万右衛門 娘					百姓 平次郎 (25~58)	堀江	41	0.03→	
江戸・青山島町					百姓 辰五郎 次男				
多七店吉五郎 妹					義兵衛 (28~55+?)	森	40	1.9→0.9→0.5→0.4→0.02	
					御弘化4年・伊左衛門 と改名				
百姓 市太郎 長女	森	42	1.9→1.0→0.8→0.1→0.5→0.02		百姓 栄助① (27~31)	浪貝	43	0.9→1.0	
上馬引沢村	娘				百姓 栄助② (32~39)				
吉之丞					同上③ (42~?)				
麻布北日下窪町	娘				九左衛門 伴	森	44	0.7→0.9→0.1→0.3→0.05	
家主半助					貞次郎 (30~39)				
宇奈根村	娘	52			御 其兵衛	森	27	1.4→0.9→0.6→1.7→1.8	
弥五右衛門 長女					3男 万藏 (26~?)				
					御上馬引沢村梅次郎				
					第五郎次郎 (27~46)				
松五郎 長女	池上	45	0.4→0.9→0.5→0.9→1.7		「田中屋」				
芝・新町12番地	金子				農・高 兼吉 (27~76)	堀江	46	0.09→0.3→0.8→1.0→0.6	
酒店 勝五郎 次女					他 所				
					百姓 源右衛門の後妻	萩原		0.1→0.8→0.08→0.1	
					(53~70)				
					百姓 藤次郎 (17~68)	萩原		0.04→0.03→断絶	
					百姓 三郎右衛門	萩原		0.06→0.1→0.5→	
					(38~76)				
					百姓 七之助	小窪	35	0.4→0.7→0.1	
					長男 豊吉 (21~42)				

番号	名前(改年齢)	誕生～死亡	生涯の区分			子供		出産期間	
			成長期	結婚期	晩年期	出生数	死亡数	期間	年数
30	■たき(28+α)	天保8・ ~元治2+α	1~22	22~28(7)	奉公 (横濱・遊女屋 28~?)	男・女	男・女		
31	かの(66)	文化4・ ~明治5・8・10	1~27	27~66(39)	なし	1・1	0・1	28~29	2
32	ふで(47)	文政7・ ~明治3・7・16	1~18	18~47(29)	なし	7・4	2・2	19~45	27
33	よね(71)	文化4・10・18~明治10・6・22	1~27	27~48(21)	48~71(23)	0・1	0・0	28	1
34	しも(62)	文化6・ ~明治3・1・19	1~24	24~55(31)	55~62(7)	2・5	1・4	25~38	14
35	はつ(59)	文化12・8・19~明治7・2・20	1~22	22~59(37)	なし	1・0	0・0	28	1
36	きよ(55)	享和1・ ~安政2・2・23	1~20	20~55(35)	なし	(2・4) 3・3	0・1	21~43	23
37	あき(52)	文化8・ ~文久2・9・24	1~25	25~52(27)	なし	1・2	1・0	26~37	12
38	とよ(38+α) 切★	文政5・6・7~	1~27	(1) 27~38(11)		2・0	2・0	28	
				(2) 38~?	?	0・2	0・1	~32	5
39	そや(84)	安永2・ ~安政2・7・10	1~19	19~72(53)	72~84(12)	2・1	0・0	20~43	24
40	ひき(38)	天保10・3・19~明治9・8・25	1~17	17~38(21)	なし	0・4	0・3	19~30	12
41	銀次郎の1番目の妻 切?	~天保9?			不明	2・1			9
42	■とり(41+α)	文化10・ ~嘉永5+α		32~41(8)	■	0・1			
43	はな(46+α)	文化13・ ~文久1+α		38~46(8)	夫没後 実家へ帰る	なし			
44	ふき(63)	文化2・ ~慶応3・4・11	1~22	22~55(33)	55~63(8)	3・3	1・0	23~42	20
45	★かね(55+α)	文政4・2・27~明治5+α	1~25	25~55(30)		3・4	0・0	25~41	17
46	■ぬい(33+α)	文政10・ ~安政6+α	1~28	28~33(5)	実家へ	1・0	0・0	29	1
47	なお(26+α)	天保13・ ~慶応3年~?	1~19	19~26(7)	不明	1・1	0・1	20~24	5
48	くに(44+α)	文政10・12・28~明治5+α		44~?(?)		0・1		45~?	1
49	かね(41) 切★	文政10・ ~慶応3・	1~24	(1) 24~34(10)		2・2	1・1	24	
				(2) 34~35(2)	35~41(6)	0・1		~35	12
50	★たか(84)	文政12・6・24~明治45・5・25	1~23	23~42(19)	42~84(42)	3・2	1・1	24~38	15
51	そめ(46+α)	文政10・10・10~明治5+α	1~28	28~46~?		2・4	0・2	28~35	8
52	しん(59)	寛政11・ ~安政4・12・21		(1) ?		1・1	0・0	30~36	7
				(2) 42~59(17)	なし				
53	もん(72)	天明3・ ~安政7・	1~22	22~72(50)	なし	1・0	0・0	23	1
54	くら(74)	安永3・ ~弘化4・10・16	1~26	26~70(44)	70~74(4)	2・1	0・0	27~40	14
55	のぶ(42+α)	文政10・ ~慶応4年~?	1~20	20~41(21)	41~42~?	6・1	3・1	21~37	17

(注) ★ 智恵子, ■ 離縁, 切 内婚, を意味する。

第2表 太子堂村女性の高齢年齢順位表

順位	妻番号	名前	生 誕	没 年	没年齢	平均年齢	夫名(氏、屋敷番号)	没年齢	平均年齢
1	20	つ ま	文化14. 10.25～明治35. 7. 28	86	83.3 歳		久 蔵(神田, 19)	78	70.0 歳
2	39	そ や	安永 2. ～安政 3. 7. 10	84			佐 吉(大杉, 38)	81	
3	28	ち よ	文政 9. 12. 25～明治42. 1. 9	84			物 吉(森, 27)	84	
4	50	た か	文政12. 6. 24～明治45. 5. 25	84			鯉養子, 五郎次郎(池上, 45)	46	
5	7	とら=まづ	天保 1. 3. 11～大正 2. 3. 5	84			虎五郎(堀江, 7)	75	
6	10	か ね	文化 5. 1. 5～明治23. 3. 23	83	80	鯉養子, 利右衛門(萩原, 4) 音次郎(浪貝, 14)	桑次郎(浪貝, 9)	56	
7	4	と り	文化10. 1. 23～明治27. 2. 25	82				71	
8	15	く ら	文化 5. 3. 10～明治20. 3. 4	80				69	
9	21	み よ	寛政10. 6. 1～明治 8. 12. 27	78	75.2		亀次郎(森, 20)	73	66.1
10	8	く わ	文化 1. 6. 10～明治14. 3. 20	78			清五郎(堀江, 7)	59	
11	13	み よ	寛政10. 9. 10～明治 7. 11. 27	77			松五郎(堀江, 12)	89	
12	2	と よ	文化 9. 9. 10～明治21. 5. 30	77			栄次郎(堀江, 2)	62	
13	9	と よ	文化10. 5. 5～明治21. 4. 12	76			新之助(浪貝, 8)	53	
14	5	み よ	文政 4. 12. 30～明治29. 5. 19	76	75	名主, 忠左衛門(森, 21)	民 蔵(堀江, 5)	48	
15	24	り せ	寛政 8. ～明治 3. 3. 4	75			鉄五郎(大杉, 23)	82	
16	23	は つ	文化 8. 2. 22～明治18. 6. 17	75			庄五郎(萩原, 13)	67	
17	14	か つ	文化13. ～明治22. 7. 9	74			三郎右衛門(萩原)	56	
18	54	く ら	安永 3. ～弘化 4. 10. 16	74			藤次郎(萩原)	76	
19	53	も ん	天明 3. ～安政 7.	72	71	理左衛門(萩原, 32)		68	61
20	33	よ ね	文化 4. 10. 18～明治10. 6. 22	71					
21	12	そ め	文化 9. 6. 6～明治11.	67			年寄, 喜之助(堀江, 11)	64	

22	31	か	の	文化 4.	～明治 5. 8. 10	66		安五郎 (萩原, 30)	73	
23	29	ぎ	の	享和 3.	～慶応 3. 3. 3	65		兼次郎 (萩原, 29)	64	
24	18	も	よ	文政 1. 11. 12	～明治 15. 2. 25	65		弥五郎 (堀江, 17)	83	
25	44	ふ	き	文化 2.	～慶応 3. 4. 11	63	63. 6	平次郎 (堀江, 41)	58	
26	25	そ	め	文政 10. 6. 16	～明治 22. 6. 21	63		年寄, 市郎兵衛 (鎌田, 24)	61	68. 0
27	34	し	も	文化 6.	～明治 3. 1. 19	62		次三郎井家村, 33)	60	
28	17	し	き	文政 12. 12. 2	～明治 22. 5. 25	61		年寄, 与十郎 (堀江, 16)	75	
29	16	え	い	天保 7. 4. 8	～明治 29. 3. 2	61		七五郎 (浪貝, 15)	74	
30	52	し	ん	寛政 11.	～安政 4. 12. 21	59		源右衛門 (萩原)	70	
31	35	は	つ	文化 13. 8. 19	～明治 7. 2. 20	59		常次郎 (浪貝, 34)	77	
32	11	き	よ	文化 11.	～明治 3. 6. 7	57	55. 8	鍋 吉 (堀江, 10)	56	
33	27	て	つ	天保 1. 2. 3	～明治 18. 10. 2	56		折右衛門 (浪貝, 26)	35	60. 0
34	36	き	よ	享和 1.	～安政 2. 2. 23	55		七之助 (小窪, 35)	72	
35	6	な	み	文政 7. 3. 2	～明治 9. 10. 13	53		佐 吉 (堀江, 6)	46	
36	37	あ	き	文化 8.	～文久 2. 9. 24	52		宇左衛門 (萩原, 36)	64	
37	32	ふ	で	文政 7.	～明治 3. 7. 16	47		浅次郎 (飛石, 31)	47	
38	3	し	げ	文政 10. 12. 10	～明治 6. 5. 27	47	45. 0	智養子, 年寄, 恒次郎 (堀江, 3)	52	46. 0
39	49	か	ね	文政 10.	～慶応 3.	41		直次郎 (森, 44)	39	
40	40	ひ	さ	天保 10. 3. 19	～明治 9. 8. 25	38	35. 0	仙 松 (三河, 39)	72	58. 0
41	22	ふ	さ	文政 12.	～万延 2. 5. 5	32		兵 藏 (森, 20)	44	
平 均 年 齢						66. 9				64. 05

(注) 没年齢不明の以下14人を除く。 1 まさ, 45 かね, 38 とよ, 43 はた, 52 そめ, 48 くに, 55 のぶ,
 42 とり, 46 ねい, 26 やす, 30 たき, 47 なお, 41 名前未詳, 19 やそ

第3表 妻と夫の婚姻年齢と結婚期間

A						B							
妻			夫		年齢差	結婚期間		夫		妻		年齢差	
名前番号	年 齢	平均年齢	年 齢	平均年齢		年 数	平均年齢	年 齢	平均年齢	名前番号	年 齢		
14	15		32			24		14	15.5	18	20	30	4.5
41	17		33			22		17		22		57	
47	17		33			15		20		24		12	
23	17		21			46		20		23		22	
21	17		27			46		20		18		28	
29	18		14			47		21		17		23	
13	18		25			59		21		20		59	
25	18	18.0	22	26.4	8.4	57		22	22.0	24	20.5	2	1.5
28	18		20			15		22		19		20	
1	19		28			33		23		18		25	
11	19		32			24		23		20		3	
15	19		25			44		23		20		17	
20	19		22			56		23		22		29	
33	19		28			28		24		24		8	
40	19		28			53		25		20		5	
48	19		32			8		25		18		13	
3	20		23			27		25		19		15	
5	20		25			23		25		22		45	
17	20		23			44		26		34		50	
19	20		27			17		27		26		7	
37	20		27			35		27		23		10	
59	20		21			21		27		20		19	
16	21		34			40		27		17		21	
29	22		23			32		27		27		34	
30	22		(不明)			6		27		20		37	
36	22	22.1	28	25.7	3.6	37		27	27.0	23	22.2	51	4.8
45	22		25			33		27		28		52	
57	22		17			50		27		29		47	
4	23		31			40		28		25		46	
6	23		31			4		28		19		1	
10	23		27			29		28		19		33	
22	23		20			9		28		22		36	
51	23		27			19		28		19		40	
50	24		30			9		29		24		18	
2	24		22			40		29		24		35	
12	24		20			43		30		28		32	
18	24		29			41		30		36		39	
35	24		29			31		31		24		50	
8	25		25			34		31		23		4	
38	25		35			27		31		23		6	
46	25		28			(不明)		31		26		26	
7	26		27			48		32		19		11	
26	26		31			30		33		15		14	
9	27	26.4	35	28.2	1.8	17		33	32.6	17	22.8	27	9.8
34	27		27			21		34		17		41	
39	27		42			8		34		21		16	
32	28		30			38		35		27		9	
52	28		27			(不明)		35		25		38	
58	32		38			42		38		32		58	
43	32		41			8		42					
39	36	34.0	30	34.0	0	(不明)		合計	1359	1057			
44	38		50			8		人数	50	48			
19	40		35			(不明)		平均	27.2	22.0			
56	42		53			17							
合計	1140		1371			1394							
人数	51		50			46							
平均	22.4		27.4		5.0	30.3							

注 A, B 共 集計の合計、平均値では、㊦-再婚
㊦-再々婚、㊦-離婚を除いた。

第4表 出産期間と子供数

女性 番号	出産期間	出産年齢	子 供 数			内子供死亡数		寿命年齢
			合計	男	女	男	女	
	年	歳	人	人	人	人	人	歳
21	27	18~44	6	2	4	0	2	78
23	27	18~44	8	5	3	1	1	75
33	27	19~45	11	7	4	2	2	47
14	24	16~39	8	5	3	3	2	42+α
25	24	19~42	4	1	3	0	0	75
40	24	20~43	3	2	1	0	0	84
15	23	19~41	6	3	3	0	1	80
37	23	21~43	6	3	3	0	1	55
1	22	20~41	9	6	3	1	0	59+α
10	22	23~44	9	4	5	1	2	83
30	21	19~39	5	1	4	0	0	65
3	20	20~39	9	5	4	2	0	47
11	20	20~39	7	1	6	0	0	57
13	20	19~38	2	0	2	0	1	77
17	20	20~39	7	3	4	0	2	64
45	20	23~42	6	3	3	1	0	63
29	19	22~40	9	5	4	3	0	85
4	18	24~41	8	3	5	2	0	82
46	17	25~41	4	3	1	0	1	55+α
59	17	21~37	7	6	1	3	0	42+α
6	15	23~37	6	3	3	1	0	53
7	15	27~41	7	5	2	1	0	84
20	15	20~34	4	3	1	3	1	86
51	15	24~38	5	3	2	1	1	83
35	14	25~38	7	2	5	1	4	62
58	14	33~46	3	2	1	0	0	74
8	13	25~37	2	1	1	0	1	78
18	13	29~41	6	1	5	1	4	65
28	13	21~33	5	1	4	0	0	56
16	12	22~33	4	2	2	0	0	61
38	12	26~37	3	1	2	0	1	52
41	12	19~30	4	0	2	0	3	38
50	12	24~35	4	2	2	1	1	41
5	11	20~30	4	3	1	1	0	76
9	9	28~36	4	1	3	0	1	76
52	8	28~35	6	2	4	0	2	46+α
12	7	25~31	3	2	1	0	0	67
19	7	20~26	3	1	2	0	0	42+α
27	7	18~24	3	1	2	0	2	31+α
56	7	30~36	2	1	1	0	0	59
22	6	24~29	3	3	0	1	0	32
39	5	28~32	4	2	2	2	1	38+α
48	5	20~24	2	1	1	0	1	26+α
32	2	29~30	2	1	1	0	1	66
2	1	42	1	0	1	0	1	77
34	1	28	1	0	1	0	0	71
36	1	28	1	1	0	0	0	59
43	1	32	1	0	1	0	0	41+α
47	1	29	1	1	0	0	0	33+α
49	1	45	1	0	1	0	0	44+α
57	1	23	1	1	0	0	0	72
26	0		0	0	0	0	0	63
44	0		0	0	0	0	0	46+α
合計	718	1221~1861	237	115	122	32	41	2668
平均	13.5	23.9~36.4	4.4	2.1	2.3	0.6	0.8	66.7

(注) 寿命年齢に(+α)のある場合は、死亡年齢がこれより先きであることを示している。
平均寿命66.7歳は(+α)のある女性を除外したものである。

第5表 晩年期の存在 (A)・(B)

女性 番号	名 前	死亡年齢	結 婚 期		晩年期 (A)		晩年期 (B)		死 亡 年	夫 の 死亡年齢
			期 間	年数	期 間	年数	期 間	年数		
50	た か ★	84	23 ~ 42	19	42 ~ 84	42	49 ~ 84	35	明治 45	46
5	み よ	76	20 ~ 43	23	43 ~ 76	33	44 ~ 76	32	明治 29	48
9	と よ	76	27 ~ 44	17	44 ~ 76	32	52 ~ 76	24	明治 21	53
10	か ね	83	24 ~ 52	28	52 ~ 83	31	58 ~ 83	25	明治 23	56
33	よ ね	71	26 ~ 48	22	48 ~ 71	23	41 ~ 71	30	明治 10	61
27	て つ	56	17 ~ 33	16	33 ~ 56	23	47 ~ 56	9	明治 18	35
4	と り ★	82	23 ~ 63	40	63 ~ 82	19	55 ~ 82	27	明治 27	71
8	く わ	78	25 ~ 59	35	59 ~ 78	19	40 ~ 78	38	明治 14	59
15	く ら	80	19 ~ 63	44	63 ~ 80	17	48 ~ 80	32	明治 20	69
21	み よ	78	19 ~ 63	44	63 ~ 78	15	59 ~ 78	19	明治 8	73
11	き よ	57	19 ~ 43	24	43 ~ 57	14	53 ~ 57	4	明治 3	56
2	と よ	77	24 ~ 64	40	64 ~ 77	13	44 ~ 77	30	明治 21	62
39	と や	84	19 ~ 72	53	72 ~ 84	12	57 ~ 84	27	安政 3	81
23	は つ	75	17 ~ 63	46	63 ~ 75	12	58 ~ 75	17	明治 18	67
20	つ ま	86	19 ~ 75	56	75 ~ 86	11	40 ~ 86	46	明治 35	78
7	とら=ま	84	26 ~ 74	48	74 ~ 84	10	54 ~ 84	30	大正 2	75
44	ふ き	63	22 ~ 55	33	55 ~ 63	8	56 ~ 63	7	慶応 3	58

25	め	63	26 ~ 56	30	56 ~ 63	7	42 ~ 63	21	明治22	61
34	も	62	24 ~ 55	31	55 ~ 62	7	49 ~ 62	13	明治 3	60
54	く	74	26 ~ 70	44	70 ~ 74	4	54 ~ 70	16	弘化 4	76
28	ち	84	21 ~ 82	61	82 ~ 84	2	54 ~ 84	30	明治42	84
13	み	77	18 ~ 77	59			52 ~ 77	25	明治 7	89
24	り	75	18 ~ 75	57			50 ~ 75	25	明治 3	82
53	も	72	22 ~ 72	50			37 ~ 72	35	嘉永 7	68
29	せ	65	18 ~ 65	47			53 ~ 65	12	慶応 3	64
12	の	67	24 ~ 67	43			45 ~ 67	22	明治11	64
18	そ	65	24 ~ 65	41			50 ~ 65	15	明治15	83
17	も	61	20 ~ 61	41			53 ~ 61	8	明治22	75
16	え	61	21 ~ 61	40			47 ~ 61	14	明治29	74
31	か	66	27 ~ 66	39			43 ~ 66	23	明治 5	73
35	は	59	22 ~ 59	37			42 ~ 59	17	明治 7	77
36	ぎ	55	20 ~ 55	35			53 ~ 55	2	安政 2	72
3	し	47	20 ~ 47	27			㏸ ㏸		明治 6	52
40	ひ	38	17 ~ 38	21			33 ~ 38	5	明治 9	不明
22	ふ	32	23 ~ 32	9			㏸ ㏸		万延 1	44
	平 均	68.9	21.7~58.8	37.1	58.0~74.9	16.9	46.1~66.6	20.1		

(注) ★ 児童子

幕末維新时期村落女性のライフ・コースの研究(二) (森)

第5表 (C-1) 晩年期 (平均寿命年齢～没年) の妻と夫の関係

妻番号 名前	67歳→没年齢	夫名前	妻67歳のときの 夫の年齢→没年齢	妻と夫 同生期	妻だけ
20 つ ま	67→86	久 蔵	70→78	8年	11年
39 そ や	67→84	平 七	76→81	5	12
28 ち よ	67→84	惣 吉	68→84	16	1
50 た か	67→84	死 亡			17
7 とら=まつ	67→84	虎五郎	66→75	7	10
10 か ね	67→83	死 亡			16
4 と り	67→82	"			15
15 く ら	67→80	"			13
14 か つ	67→74	紋之助	74→75	1	6
21 み よ	67→78	死 亡			11
8 く わ	67→78	"			11
13 み よ	67→77	松五郎	74→89	10	
2 と よ	67→77	死 亡			10
9 と よ	67→76	"			9
5 み よ	67→76	"			9
24 り せ	67→75	鉄五郎	71→82	8	
23 は つ	67→75	死 亡			8
54 く ら	67→74	三郎右衛門	73→76	3	4
53 も ん	67→72	藤次郎	62→68	5	
33 よ ね	67→71	死 亡			4
12 そ め	67	喜之助	63→64	1	
平 均	67→81.5	夫死亡 11人 夫とともに10人		64 6.4	167 9.8

第5表(C-2) 晩年期妻67歳のときの子供の既・未婚数状況

基番号	名・前	主		子 供		孫 名 前 (年齢)
		戸主名 (年齢)	続柄	子供数 (男・女)	未婚子供数(男・女)	
20	つ ま	未 詳	未 詳	4 (3・1)	0	未 詳
39	そ や	平 七 (76)	夫	3 (2・1)	2 (1・1)	きよ (26) <翌年には親と共に当家より出る> 作次郎(3)
28	ち 上	未 詳	未 詳	9 (5・4)	未 詳	未 詳
50	た か	未 詳	未 詳	6 (3・3)	未 詳	未 詳
7	とら=ま	未 詳	未 詳	7 (5・2)	未 詳	未 詳
10	か ね	亀次郎 (37)	次男	9 (5・4)	0	鈴太郎(12) 滝藏(4)
4	と り	未 詳	未 詳	8 (3・5)	未 詳	未 詳
15	く ち	増左郎 (44)	長男	6 (3・3)	0	かな(17~) 力蔵(6~)
14	か つ	兼次郎 (38)	長男	先妻の子3(1・2)	0	未 詳
21	み 上	兵 藏 (32)	次男	6 (2・4)	0	兼吉(12~) 辰左郎(9~)
8	く わ	虎左郎 (42)	長男	2 (1・1)	0	銀次郎(15~) すず(12~) 繁吉(3~) 松五郎(1~) 幸次郎(9~) みよ(5~)
13	み 上	松五郎 (77)	夫	2 (0・2)	0	な し
2	と 上	未 詳	未 詳	1 (0・1)	0	な し
9	と と	清太郎 (30)	長男	4 (1・3)	未 詳	未 詳
5	み 上	角次郎 (43)	長男	4 (3・1)	未 詳	未 詳
24	り せ	鉄左郎 (71)	夫	4 (1・3)	0	清吉(3~) 平太郎(2~)
23	は つ	岩次郎 (44)	次男	8 (5・3)	0	鎌太郎(13~)
54	く ち	三郎右衛門(73)	夫	3 (2・1)	1 (1・0)	金二郎(4~)
53	も ん	藤次郎 (62)	夫	1 (1・0)	0	かね・善二郎
33	な ね	利左衛門 (51)	智彦子	1 (0・1)	0	千代吉(23~)
12	そ め	富之助 (43)	長男	3 (2・1)	0	綱五郎(8~)
合 計				94 (48・46)	3 (2・1)	

離婚・離縁状況一覧表

子 供 数		子供引取者	離婚等理由	離婚・離縁後の動向
男(死亡)	女(死亡)			
0	0	夫	生家の窮状か	生家に戻り、第三子12歳と2人暮らし、借財かさみ29歳で家出
0	0		婚礼の室の大混乱遠因か	栄次郎は一人息子だが、文久3・2、21歳で離村
0	0			きんは38歳で江戸駿ヶ谷町家主勇次郎店忠次郎と再婚
1	0			ぬいは生家へ戻る。栄助は翌年麻布北日下窪家主半助娘なおと再婚
0	0		「心底に应ぜず」	みちは離婚後、旗本永田金兵衛の側奉公をし、29歳で弘化3・11・8死亡
1	2		悼一夫 娘2人一妻	なみは3年後娘2人をつれて復縁する
0	0			こうは生家へ戻り、善次郎は3年後世田谷村勝国寺領名主源蔵娘ちよ28歳と再婚
0	0			たきは生家へ戻り、9ヵ月後に横浜港崎町松五郎店遊女屋徳兵衛方へ奉公
0	0			さわは生家へ戻り、その際「みき」と改名する
1	1(1)		夫	栄助は3年後、明治3年宇奈根村百姓赤五右衛門長女くに44歳と再々婚
1	0	妻		くわは長男5歳をつれて生家に戻り、翌年下渋谷村百姓豊次郎と再婚
1	1	妻		まさは娘はつ15歳、梓岩次郎5歳をつれて生家に戻り、安政5年まさは離村する
0	0		子供不出産のため	金五郎は12年後48歳でなみ(堀江、6)の養子に入る
1	2(2)	夫		やすは翌年豊次郎31歳と再婚、紋之助も安政7年52歳で下北沢村源蔵長女かず45歳と再婚
1	2	夫		やそは3年後に百姓代富之助35歳と再婚
合計 7人 平均 0.5	8人(3) 0.5 (0.2)			
0	1	夫		とりは生家へ戻った。銀次郎ははたと再婚
0	0		夫死亡	はなは夫銀次郎死亡1ヵ月後に生家に戻る
1	1	悼一婿家 娘一妻	夫死亡	梓金二郎は14歳で家督をつぐが36歳で離村する
1	1	妻	夫死亡	よねは、子供まさ16歳、惣太郎11歳をつれて生家へ戻るが、3年後よねは離村する
			夫死亡	なみは生家へ戻る
			夫死亡	かつは39歳のとき夫と死別し、3年後の安政4年生家へ戻り、さらに3年後安政7年45歳で紋之助52歳と再婚した
合計 2人 平均 0.4	2人 0.4			
0	0			えつは元治1年、弦巻村大次郎次男宇之助28歳を養子とする
0	1	夫		万蔵は娘なつ1歳をつれて生家に戻り、なつは坂戸村忠五郎の養女へ、万蔵は江戸内藤新治へ引越す

第6表 太子堂村における

形態	妻		夫		結婚期間		結婚～離婚・年月日
	名前(離婚・年齢)	出自	名前(離婚・年齢)	出自	年数	期間	
初婚	て つ (19)	14 かつの次女 (萩原, 13番屋敷)	隆 吉 (?)	下北沢村 百姓 熊次郎 倅	9ヵ月	18～19	安政4・10～同5・6
	は な (18)	上日黒村 銀次郎 娘	栄次郎 (20)	35 はつの長男 (堀江, 35)	2年	17～18	万延2・2・17～文久2
	き ん (24)	15 くらひの長女 (浪貝, 14)	常 吉 (?)	若林村 百姓 倅	3年	21～24	弘化4・3・11～嘉永3
	ぬ い (33)	上馬引沢村 吉之丞 娘	栄 助 (31)	(浪貝, 43)	5年	28～33	安政2～同6・12
	み ち (25)	(森, 21)	行 蔵 (?)	(未 詳)	5年	20～25	天保7～同12
	な み (27)	野沢村 百姓 七五郎 長女	佐 吉 (?)	(堀江, 6)	5年	23～28	弘化3～嘉永3・11
	こ う (22)	金次郎 長女 (飛石, 31)	善次郎 (28)	前名主 与十郎 長男 (堀江, 16)	5年	18～22	弘化4～嘉永4
	た き (28)	兼次郎 3女 (萩原, 29)	高梨勇次郎 (?)	紀州藩家臣	7年	22～28	安政5・4・3 ～元治2・2
	さ わ (25)	11 きよの次女 (堀江, 10)	富五郎 (?)	代田村 百姓 喜右衛門 倅	8年	17～25	安政3～文久3・2
	な お (26)	麻布北日下窪町 家主 半助 娘	栄 助 (39)	(浪貝, 43)	7年	19～26	安政7・6～慶応3
	く わ (28)	佐吉の長女 (堀江, 6)	象次郎 (?)	下馬引沢村	9年	19～28	文久3・2・26 ～明治5・2
	ま さ (34)	久蔵 妹 (神田, 19)	(未 詳)		9年	25～34	弘化2～嘉永7
	ふ み (36)	(未 詳)	金五郎 (38)	(森, 20)	12年	24～36	弘化2～安政3
離婚	や す (31)	松原村 百姓 其五右衛門 娘	紋之助 (47)	(小窪, 25)	14年	17～31	天保12～安政2
	や そ (37)	古兵衛 次女 (浪貝, 15)	磯次郎 (45)	万次郎 三男 (堀江, 18)	18年	19～37	嘉永3～慶応3
平均値					7.3	20.5～27.6	
再婚の離婚・離縁	と り (40)	下谷保村 百姓 万右衛門 娘	銀次郎 (49)	(森, 40)	8年	32～40	天保15～嘉永5・6
	は な (46)	江戸・青山森町 多七店 吉五郎 妹	銀次郎 (58)	(森, 40)	8年	38～46	嘉永6～文久1・2・29
	は る (36)	(未 詳)	八五郎(48死)	三郎右衛門 長男 (萩原)	13年	24～36	天保5～弘化5
	とら-よね (45)	(浪貝, 15)	半兵衛 (?)	戸越村 百姓 (中村)	18年	27～45	弘化4～元治2・2
	な み (45)	36 きよの長女 (小窪, 35)	源右衛門 (?)	上沼部村 百姓	26年	22～45	天保13～明治1・10
	か つ (42)	下北沢村 百姓 源蔵 長女	庄五郎 (?)	(萩原, 13)	24年	15～39	天保1～安政4・10・12
平均値					18.4	25.2～42.8	
御養子	え つ (17)	37 あきの次女 (萩原, 36)	竹五郎 (27)	弦巻村 百姓 弟	1年	17	文久3・2～文久3
	か ね (35)	直次郎 (森, 44) 未亡人	万 蔵 (27)	其兵衛 (森, 27) 3男	1年	34～35	安政6～文久1

第7表 婚姻圖 (1) — 村内 —

妻				夫				
番号	名前 (年齢)	続柄 (氏, 屋敷番号)	年代・持高	名前 (年齢)	続柄 (氏, 屋敷番号)	年代・持高	婚姻形態	婚姻年
1	まさ (20?)	長兵衛 長女 (堀江, 2)	天保14 石 0.9990	寅五郎 (28)	金治郎 (堀江, 1)	天保14 石 1.2718	嫁入	天保4
2	とよの長女 (22)	(上目黒村武兵衛 姉すずの娘) 栄次郎 長女 (堀江, 2)	文久3 1.0653	捨次郎 (25)	寅五郎 3男 (堀江, 1)	文久3 1.2625	嫁入	文久3
3	しげ (22)	年寄 勝之助 長女 (堀江, 3)	弘化3 0.43516	恒次郎 (23)	年寄 市郎左衛門2男(鎌田24)	弘化3 0.43168	〃	弘化3
8	くわ (25)	年寄 源兵衛 3女 (堀江, 3)	天保14 0.5457	清五郎 (25)	未詳 (堀江, 7)	天保14 0.697	嫁入	文政11
12	そめ (24)	亀五郎 2女 (段貝, 9)	天保14 0.7948	喜之助 (20)	未詳 (堀江, 11)	天保14 0.1575	〃	天保6
19	やその長女 (21)	磯次郎 長女 (堀江, 18)	明治2 0.0596	綱五郎 (33)	喜之助 2男 (堀江, 11)	明治2 0.0031	〃	明治3
13	みよ (18)	吉五郎 長女 (段貝, 8)	天保14 1.1485	松五郎 (25)	未詳 (堀江, 12)	天保14 1.312	〃	文化12
13	みよの長女 (24)	松五郎 長女 (堀江, 12)	天保14 1.312	政五郎 (24)	万次郎 2男 (堀江, 17)	天保14 0.8115	嫁入	天保10
17	よき (20)	万次郎 4女 (堀江, 17)	嘉永元 0.7537	勇次郎 (後身十郎) (23)	与十郎 2男 (堀江, 16)	嘉永元 0.4895	嫁入	嘉永元
19	やそ (19)	吉兵衛 2女 (段貝, 15)	嘉永元 0.1565	磯次郎 (27)	万次郎 2男 (堀江, 17)	嘉永元 0.7537	〃	嘉永元
21	みよ (19)	九左衛門 長女 (森, 44)	天保14 0.8952	亀次郎 (27)	未詳 (森, 20)	天保15 1.09377	〃	文化13
23	はつ (17)	藤右衛門 長女(堀江, 6)	天保14 0.8740	定吉(後 忠左衛門) (21)	年寄 次左衛門 長男 (森, 21)	天保15 1.1362	〃	文政10
23	はつ (17)	名主 忠左衛門 5男 (森, 21)	明治2 1.1182		象次郎へ養子 (森, 22)	明治2 0.7934	養子	明治5
27	てつ (17)	七之助 3女 (小笠, 35)	弘化3 0.41483	折右衛門 (19)	氏左衛門 長男(段貝, 26)	弘化3 0.8652	嫁入	弘化3

28	ちよ (21)	万次郎 3女 (堀江, 17)	弘化3 0.7537	惣吉 (22)	桂兵衛 2男 (森, 27)	弘化3 1.0690	嫁入	弘化3
32	ふで (18)	七之助 2女 (小窪, 35)	天保14 0.4322	浅次郎 (27)	金次郎 長男 (飛石, 31)	天保14 0.377	"	天保12
27	てつの長女 なか (21~22)	折右衛門 (浪貝, 26)	明治2 0.9292	清吉 (27~28)	浅次郎 長男 (飛石, 31)	明治2 0.2979	"	明治3~4
33	よねの長女 りき (18)	理左衛門 (鉄原, 32)	嘉永3 0.0216	与惣次 (29)	与兵衛 2男 (堀江, 5)	嘉永3 1.0512	嫁入	嘉永3
1	まきの6男 権次良 (19)	寅五郎 6男 (堀江, 1)	明治2 0.7491	健兵衛(後 伊左衛門) (21)	仙松へ茂子 (三河, 39)	明治2 0.2764	嫁入	明治5
45	かね (25)	市太郎 長女 (森, 42)	弘化3 0.8182		辰五郎 2男 (森, 40)	弘化3 0.429	嫁入	弘化3
5	みの3男 算太郎 (16)	民藏 3男 (堀江, 5)	元治2 1.0688		松五郎 (堀江, 12)	元治2 1.0406	嫁入	元治2年

第7表 婚姻圈 (2) —江戸・他村→太子堂村—

番号	名前 (年齢) と改名(26)	生 家		婚 家		婚姻 形態	婚姻年
		村 名	続 柄	名 前 (年齢)	続柄 (氏、屋敷番号)		
7	まつ (後とら と改名)(26)	上目黒村	安兵衛 長女	寅五郎 (27)	清五郎 長男 (堀江, 7)	嫁入	安政2
18	も よ (24)	上目黒村	六之丞 (関根) 長女	弥五郎 (29)	万次郎 長男 (堀江, 17)	"	天保12
29	さだ (18)	上目黒村	兼次郎 長女	豊次郎 (22)	兼次郎 長男 (萩原, 29)	"	安政2
35	はな (17)	上目黒村	宿山組 銀次郎 娘	栄次郎 (19)	常次郎 長男 (堀江, 34)	"	万延2
2	とよの養女 ふく (3)	上目黒村	武兵衛 姉すずの娘		栄次郎 養女 (堀江, 2)	養女	弘化元
10	かねの嫁 て (24)	上馬引沢村	組頭 吉之丞 娘	銀次郎 (28)	象次郎 長男 (浪貝, 9)	嫁入	安政6
	同上と改名 いく (25)		亡夫銀次郎 妻	亀次郎 (23) (後電五郎)	" 2男 (")	再婚	安政7
40	ひ さ (17)	上馬引沢村	磯八 (中山) 3女	仙 松 (33)	吉 蔵 長男 (三河, 39)	嫁入	安政2
44	ふきの嫁 しも (31)	上馬引沢村	熊次郎 (橋本) 3女	平 吉 (30)	平次郎 2男 (堀江, 41)	"	明治3
46	ぬ い (28)	上馬引沢村	吉之丞 娘	(幼名庄五郎) 栄 助 (26)	栄 助 2男 (浪貝, 43)	"	嘉永7
10	か ね (24)	下北沢村	五郎左衛門 娘	象次郎 (28)	(浪貝, 9)	"	天保2
14	か つ (15)	下北沢村	源蔵 (大野) 長女	庄五郎 (32)	(萩原, 13)	"	天保元
	かつ改名 かず (45)		亡夫庄五郎 妻	紋之助 (52)	吉五郎 3男 (浪貝, 8) 平次郎の養子	再婚	安政7
35	は つ (22)	下北沢村	猪五郎 3女	常次郎 (28)	久太郎 倅 (堀江, 34)	嫁入	天保8
14	かつの嫁 は ま (20)	代田村	滝次郎 長女	三 吉 (25)	庄五郎 4男 (萩原, 13)	"	明治4
18	もよの長女 つる (23)	太子堂村	弥五郎長女(堀江, 17)	七五郎 (24)	代田村 米次郎 弟	嫁入	慶応4
18	もよの3女 この (20)	"	同 上 3女	万五郎 (25)	代田村 初五郎 (鈴木) 2男	"	明治2
9	と よ (27)	若林村	惣八 (河野) 2女	新之助 (36)	(浪貝, 8)	嫁入	天保10
15	く ら (19)	若林村	五左衛門(中村) 5女	乙次郎 (25)	権右衛門長男 (浪貝, 14)	"	文政9
6	な み (23)	野沢村	七五郎 (田中) 長女	佐 吉 (31)	(堀江, 6)	(大再婚)	弘化3
20	つ ま (19)	野沢村	喜兵衛 3女	久 蔵 (22)	次兵衛 倅 (神田, 19)	"	天保6
37	あきの2女 えつ (17)	太子堂村	宇左衛門 (萩原, 36) 2女	竹五郎 (27)	荻森村 梅次郎 弟	嫁入	文久3
"	(18)	"	"	宇之助 (28)	荻森村 大次郎 2男	"	文久4
31	か の (27)	橘樹郡宮内村	新兵衛 (金子) 長女	安五郎 (30)	伝 蔵 倅 (萩原, 30)	嫁入	天保4
31	かのの嫁 ちよ (20)	橘樹郡宮内村	新兵衛 (金子) (襲名) 長女	伝次郎 (21)	安五郎 長男 (萩原, 30)	"	安政2
1	まきの嫁 その (19)	中馬引沢村	卯之助 娘	市之助 (24)	寅五郎 長男 (堀江, 1)	"	安政4
25	そ め (26)	世田谷村	元右衛門 娘	猷次郎 (31) (後市郎兵衛)	年寄 市郎左衛門 長男 (鎌田, 24)	"	嘉永5
17	よき夫の兄嫁 ちよ (28)	世田谷村	勝国寺領主源蔵娘	善次郎 (30)	年寄見習 与十郎 兄 (堀江, 16)	"	嘉永6
24	りせの嫁 やす (32)	松原村	萬五右衛門 娘	豊次郎 (31)	鉄五郎 長男 (大杉, 23)	(大再婚)	安政3

生		家		婚		家		婚姻形態	婚姻年
番号	名前 (年齢)	村 名	続 柄	名 前 (年齢)	家 名	屋敷番号			
へ、23はつ	の嫁	瀬田村	勘四郎 (星谷) 2女	岩次郎 (28)	名主	忍左衛門 2男 (森, 21)	嫁入	文久 2	
33	よ ね (26)	等々力村	熊次郎 (早川) 長女	鉄五郎 (39) (後理左衛門)	利左衛門 倅 (萩原, 32)		"	天保 3	
2	と よ (24)	船橋村	幸次郎 (遠藤) 2女	栄次郎 (22)	吉兵衛 長男 (堀江, 2)		"	天保 6	
38	と よ (28)	代々木村	伝五郎 (宮嶋) 3女	熊次郎 (43)	佐太郎 倅 (浪貝, 37)		"	嘉永 2	
15くらの	嫁	和泉村	豊次郎 娘	増五郎 (28)	乙次郎 長男 (浪貝, 14)		"	安政 5	
か ね	(27)			増五郎 (37)	(浪貝, 14)	(大再婚)	"	慶応 3	
と め	(29)	成宗村		増五郎 (37)	(浪貝, 14)	(大再婚)	"	安政 3	
16 え い (21)		下沼部村	仙 蔵 (白井) 2女	七五郎 (33)	吉兵衛 養子 (浪貝, 15)		"	天保 15	
16えいの夫	(21)	戸越村	次郎兵衛 (山路) 3男		吉兵衛へ養子 (浪貝, 15)		養子	天保 15	
七五郎							嫁入 (大再婚)	弘化 1	
42	と り (32)	下谷保村	万右衛門 娘	銀次郎 (41)	(森, 40)				
43	は な (38)	江戸青山縁町	多七店 吉五郎 妹	銀次郎 (50)	(森, 40)		嫁入 (大再婚)	嘉永 6	
47	な お (19)	江戸麻布北目下登町	家主 半助 娘	栄 助 (32)	(浪貝, 43)	(大再婚)	"	安政 7	
51	そ め (28)	江戸芝新町	店借 勝五郎 2女	兼 吉 (27)	与 七 長男 (堀江, 46)		"	嘉永 7	
30	た き (29)	江戸青山	紀州様御家中高梨勇次郎妻	父兼次郎へ戻る	兼次郎 3女 (萩原, 29)		離縁	元治 2	
竹五郎 (9)		中渋谷村	徳右衛門店 勇次郎 養子		(浪貝, 43) 借家 八五郎 (小産)		"	慶応 3	
20つま夫弟	つき (27)	上田保太郎屋敷代々木村	地守 勘右衛門 娘	鎌 吉 (45)	久 蔵 弟 (神田, 19)		嫁入	慶応 3	
20つま伯母	とめ (68)	青山左京太夫	家来 山科庄吉伯母	久 蔵 引取	久 蔵 伯母 (神田, 41)		扶養	慶応 4	
44ふき養子	乙 吉 (2)	江戸麻布御草町	辰五郎店 弥吉 孫家いよ 倅		平次郎 養子 (堀江, 41)		養子	弘化 2	
44ふき次男養女	ふじ (14)	市谷船荷町	治兵衛店 幸次郎娘		平 吉 養女 (堀江, 12)		養女	明治 2	
13みよ孫嫁	ぎん (20)	和田村	九左衛門 2女	銆太郎 (21)	松五郎 孫 (堀江, 43)		嫁入	明治 3	
4とり夫	利右衛門 (31)	幡ヶ谷村	久左衛門(中村)次男	と り (23)	源右衛門 娘 (萩原)		養子	天保 6	

第7表 婚姻 (3) —太子堂村→江戸・他村—

生 家			婚 家			婚姻形態	婚姻年
番号	名 前 (年齢)	家 名 屋敷番号	名 前	村 名	続 柄		
1 まさ 3女	てつ (23)	寅五郎 3女 (堀江, 1)	慶次郎	上目黒村	小嶋峰吉 長男	嫁入	明治6
3 しげ 2女	きく (23)	年寄・百姓代 恒次郎 2女 (堀江, 3)	竹次郎	上目黒村	長右衛門 倅	"	明治3
50 たか 長女	かつ (18)	農・商 五郎次郎長女 (池上, 45)	清兵衛	上目黒村	鉄五郎 倅	"	明治2
11 きよ 2女	さわ (17)	綱 吉 2女 (堀江, 10)	辰五郎	代田村	喜右衛門 倅	"	安政2
15 くら 2女	きた (19)	乙次郎 2女 (浪貝, 14)	市五郎	代田村		"	弘化3
21 みよ 4女	ひで (23)	亀次郎 4女 (森, 20)	喜之助	代田村	平 六 倅	"	文久4
10 かね 5女	よね (18)	兼次郎 4女 (浪貝, 9)	勝右衛門	世田谷村		"	慶応4
24 りせ 2女	てつ (32)	鉄五郎 2女 (人杉, 23)	伊三郎	世田谷村		"	嘉永4

生 家			婚 家			婚 姻 形 態	婚 姻 年
番号	名 前 (年齢)	家 名 屋敷番号	名 前	村 名	続 柄		
14	かつ 2女 てつ(18)	庄五郎 2女(萩原,13)	隆 吉	下北沢村	熊次郎 悻	嫁入	安政4
42	とり 娘 はつ(19)	銀次郎 2女 (森,40)	銀次郎	中馬引沢村		"	文久2
15	くら 長女 きん(21)	乙次郎 長女(浪貝,14)	常 吉	若林村	巳之助 悻	"	弘化4
	亡妻そとの娘くわ(19)	佐 吉 長女(堀江,6)	象次郎	下馬引沢村		"	文久3
6	なみ 長女 かな(17)	佐 吉 2女(堀江,6)	鈴太郎	野沢村		"	元治1
6	なみ 2女 みよ(15)	佐 吉 3女(堀江,6)	某	瀬田村		養女	元治1
4	とり 3女 あき(22)	百姓代 利右衛門 3女(萩原,4)	新右衛門	深沢村		"	元治1
34	しも 2女 いと(26)	次三郎 2女(井家,33)	啓次郎	弦巻村		嫁入	文久3
4	とり 4女 かね(23)	百姓代 利右衛門 4女(萩原,4)	七郎右衛門	幡ヶ谷村		"	慶応3
15	くら 3男妹五郎(27)	乙次郎 3男(浪貝,14)		渋谷・ 宮益坂	茂兵衛店	引越	慶応3
1	まさ 5男 兼吉(24)	寅五郎 5男(堀江,1)	百姓 象 吉	原宿村		養子	明治3
1	まさ 長女 さく(27)	寅五郎 長女(堀江,1)	百姓 政五郎	中豊沢村		嫁入	明治3
23	はつ 4男力之助(16)	名主 忠左衛門 4男(森,21)		大森村	平林家	養子	嘉永1
36	きよ 長女 なみ(22)	七之助 長女(小窪,35)	源右衛門	上沼部村		嫁入	天保13
49	かね 3女 なつ(1)	万 蔵 娘 (森,27)	忠五郎	坂戸村		養女	文久1
23	はつ 長男菊之助(25)	名主 忠左衛門 長男(森,21)	森保右衛門	江州(滋賀県) 膳所藩	伯父本多家臣	養子	嘉永6
3	しげ 長女 まき(24)	年寄・百姓代 恒次郎 長女(堀江,3)	友 吉	青山・久保町	差配人 金太郎店借	嫁入	明治2
29	さの 4女 くに(20)	兼次郎 4女(萩原,29)	寅 吉	青山・若松町	大宮彦兵衛店 駿河屋八十吉悻	"	万延1
29	さの 3女 たき(22)	兼次郎 3女(萩原,29)	勇次郎		紀州派屋敷内 高梨久兵衛 弟	(7年後離婚) 嫁入	安政5
10	かね 3男助次郎(23)	象次郎 2男(浪貝,9)	八右衛門	麻布・桜田町	卯兵衛店	養子	元治1
5	みよ長女きん (25)	民 蔵 長女(堀江,5)	岩崎雄之助	麻布・田嶋町	(吹上利行支配下)	嫁入	元治1
11	きよ 3女 きく(23)	鍋 吉 3女(堀江,10)	大 助	麻布・谷町	幸次郎店	"	文久3
23	はつ 2女 すず(26)	名主 忠左衛門 2女(森,21)	福島正好	江戸麹町	(武士)	"	慶応1
11	きよ 6女 はる(21)	鍋 吉 6女(堀江,10)	竹内正直	本郷・春木町	竹内光盛	"	明治5
44	ふき 2女 てつ(35)	平次郎 2女(堀江,41)	松五郎	赤坂裏 伝馬町1丁目	其五郎店 染五郎同店人	"	文久3
6	なみ 長男佐太郎(28)	佐 吉 長男(堀江,6)		小川町 南神保町	平山幾直店	引越	明治6
17	よき 夫兄善次郎(35)	与十郎 兄(堀江,16)		渋谷 道玄坂町	堺屋善兵衛方	養子	安政5
46	ぬい 夫婦 まち(29)	留之助 姉(浪貝,43)	善七	江戸四谷坂町	家主熊次郎店	嫁入	嘉永4
15	くら 長女 きん(38)	乙次郎 長女(浪貝,14)	忠次郎	江戸駿ヶ谷町	家主勇次郎店	"	文久4
25	そめ 妹妹 のぶ(32)	年寄 市郎兵衛 妹(鎌田,24)	宗七	江戸 下谷坂本町	五人組持店	"	慶応1
10	かね 長女 くま(30)	象次郎 長女(浪貝,9)	安太郎	品川 元四日市町		"	慶応1
6	なみ 娘 くわ(29)	佐 吉 長女(堀江,6)	豊次郎	下渋谷村	百姓 斉藤勘四郎方	" (再婚)	明治6
16	えい・伯母とら (27)	吉兵衛 長女(浪貝,15)	半兵衛	戸越村	中村家	"	弘化4

第8表 同族分布表
明治5年(1873)

	姓	家数
草 分 筋	堀 江	16軒
	森	8
	浪 貝	7
	萩 原	7
	鎌 田	1
	小 計	39
上 記 以 外	大 杉	3
	小 窪	2
	神 田	1
	飛 石	1
	井 家 村	1
	三 河	1
	池 上	1
	早 川	1
	小 計	11
合 計		50

第9表 太子堂村における村外の婚姻圏一覽表

距離 km	地図上 の番号	村名	太子堂村→江戸・他村				江戸・他村→太子堂村			
			人数	移動者の名前			人数	移動者の名前		
0 1 2 km	1	中馬引沢村	1	42 はつ			1	1 そ の		
	2	下馬引沢村	1	6 くわ						
	3	野沢村	1	6 かな			2	6 なみ	20 つま	
	4	上馬引沢村					4	10 て る	40 ひさ	44しも 46ぬい
	5	世田谷村	2	10 よね	24 てつ		2	25 そめ	16 ちよ	
	6	若林村	1	15 きん			2	9 とよ	15 くら	
	7	代田村	3	11 さわ	15 きた	21 ひで	3	14 はま	18 つる	18この
2 5 km	8	上目黒村	3	1 てつ	3 きく	50 かつ	5	2 ふく	7 まつ	18もよ 29さだ 35はな
	9	中豊沢村	1	1 さく						
	10	深沢村	1	4 あき						
	11	等々力村					1	33 かね		
	12	瀬田村	1	6 みよ			1	21 きん		
	13	弦巻村	1	34 いと			2	37 竹五郎	37 字之助	
	14	船橋村					1	2 とよ		
	15	松原村					1	24 やす		
	16	和泉村					1	15 かね		
	17	下北沢村	1	14 てつ			3	10 かね	14かつ	35はつ
5 10 km	18	幡ヶ谷村	1	4 かね			1	4 利右衛門		
	19	原宿村	1	1 兼吉						
	20	旗谷村	3	6 くわ	15 鉄五郎	17 善次郎	1	(浪貝 43) 信家八五郎 (小窪) 伴竹五郎		
	21	青山	3	3 まき	29 くに	30 たき	2	30 たき	43 はな	
	22	赤坂	1	44 てつ						
	23	麻布	3	5きん(すず)	10 助次郎	11 きく	2	44 乙吉	47 なお	
	24	芝					1	51 そめ		
	25	品川町	1	10 くま						
	26	戸越村	1	16 とら			1	16 七五郎		
	27	大森村	1	23 力之助						
10 15 20 25 km	28	上沼部村	1	36 なみ						
	29	下沼部村					1	16 えい		
	30	宮内村					2	31 かの	31 ちよ	
	31	坂戸村	1	44 なつ						
	32	成宗村					1	15 とめ		
	33	四谷	2	15 きん	46 まち					
	34	代々木村					2	20 つき	38 とよ	
	35	市谷船河町					1	44 ふじ		
	36	麴町	1	23 すず						
		(御府内)					1	20 とめ		
10 15 20 25 km	37	本郷	1	11 はる						
	38	小川町南神保町	1	6 佐太郎						
	39	下谷	1	25 のぶ						
	40	和田村					1	13 ぎん		
	41	下谷保村					1	42 とり		
		江州(滋賀県膳所藩)	1	23 菊之助						
		合 計	40名				47名			

第10表 太子堂村における相統動向一覧表

相統 年月日	被相統人(年齢)	相統人(年齢)	統柄	相統理由	襲名の 有無	氏名、 屋敷番号	妻番号	備 考
安政3年	金 治 郎(74)	虎 五 郎(51)	長男	死 亡	なし	堀江, 1	1	
慶応2年	虎 五 郎(60)	市 之 助(33)	長男	死 亡	なし	堀江, 1		
弘化3年	勝 之 助(48)	恒 次 郎(23)	養子	未 詳	なし	堀江, 3	3	
元治1年	民 藏(48)	角 次 郎(20)	長男	死 亡	なし	堀江, 5	5(被)	
文久2年	佐 吉(46)	佐 太 郎(17)	長男	死 亡	なし	堀江, 6	6(被)	
文久3年	清 五 郎(59)	虎 五 郎(35)	長男	死 亡	なし	堀江, 7	7.8(被)	
安政4年	新 之 助(53)	清 太 郎(8)	長男	死 亡	なし	浪貝, 8	9(被)	
安政7年	条 次 郎(56)	亀 次 郎(23)	次男	死 亡 (長男死亡)	なし	浪貝, 9	10(被)	
安政4年	鍋 吉(56)	茂 吉(22)	長男	死 亡	なし	堀江, 10	11(被)	
嘉永3年	喜 之 助(35)	富 之 助(16)	長男	隠 居	なし	堀江, 11	12(被)	年寄 百姓代
安政2年	庄 五 郎(56)	庄 次 郎(13)	次男	死 亡 (長男死亡)	なし	萩原, 13	14(被)	
安政4年	庄 次 郎(14)	三 吉(11)	弟	離 村?	なし	萩原, 13		
天保15年	権右衛門(73)	乙 次 郎(43)	長男	死 亡	なし	浪貝, 14	15	
文久2年	吉 兵 衛(73)	七 五 郎(39)	養子	死 亡 (長男死亡)	なし	浪貝, 15	16	
天保9年	与 十 郎(53)	善 次 郎(15)	長男	隠 居	なし	堀江, 16		名主 見習 名主 見習 年寄
安政5年	善 次 郎(34)	与 十 郎(33)	弟	離 村	隔世襲名	堀江, 16	17	
嘉永7年	万 次 郎(69)	弥 五 郎(42)	長男	死 亡	なし	堀江, 17	18	
天保14年	次 兵 衛(57)	久 藏(30)	長男	隠 居	なし	神田, 19	20	
文久1年	亀 次 郎(73)	兵 藏(29)	次男	死 亡	なし	森, 20	21(被) 22	
天保10年	次 左 衛門(61)	忠左衛門(33)	長男	隠 居	隔世襲名	森, 21	23	年寄・名主
天保10年	き <(13)	惣左衛門(44)	父	帰 村	なし	森, 22		
明治2年	惣 左 衛門(73)	条 次 郎(63)	養子	死 亡	なし	森, 22		
元治2年	市郎左衛門(70)	鎮次郎改 市郎兵衛(44)	長男	死 亡	隔世襲名	鎌田, 24	26	年寄・年寄
嘉永2年	平 次 郎(42)	紋 之 助(41)	養子	離 村	なし	小窪, 25	27	兄独身で離村
天保10年	惣 左 衛門(68)	甚 兵 衛(45)	長男	隠 居	なし	森, 27		
嘉永3年	甚 兵 衛(55)	惣 吉(26)	次男	隠居(長男死 亡か他出)	なし	森, 27	29	
天保12年	久 兵 衛(80)	兼 次 郎(38)	長男	死 亡	なし	萩原, 29	30	
安政3年	兼 次 郎(52)	豊 次 郎(23)	長男	隠 居	なし	萩原, 29		
弘化2年	伝 藏(72)	安 五 郎(42)	長男	死 亡	なし	萩原, 30	32	
天保15年	金 次 郎(53)	浅 次 郎(30)	長男	隠 居	なし	飛石, 31	33	
天保10年	利 左 衛門(72)	金五郎改 理左衛門(46)	長男	隠 居	代々襲名	萩原, 32	34	
元治1年	次 三 郎(60)	竹 次 郎(22)	次男	死 亡 (長男死亡)	なし	井家村, 33	35(被)	
元治2年	久 太 郎(81)	常 次 郎(56)	長男	死 亡	なし	堀江, 34	36	
明治2年	常 次 郎(59)	平 次 郎(28)	養子	隠 居 (長男死亡)	なし	堀江, 34		
慶応2年	七 之 助(72)	豊 吉(41)	長男	死 亡	なし	小窪, 35	37(被)	

相統 年月日	被相統人(年齢)	相統人(年齢)	統柄	相統理由	襲名の有無	氏名、 屋敷番号	妻番号	備考
慶応4年	豊吉(42)	又七(20)	次男	死亡 (長男死亡)	なし	小窪, 35		
元治2年	宇左衛門(64)	宇之助(29)	贅養子	死亡 (長男死亡)	なし	萩原, 36	38(被)	
安政4年	熊次郎(50)	佐右衛門(30)	贅養子	死亡 (長次男死亡)	なし	浪貝, 37	39(被)	
天保11年	平七(76)	大次郎(46)	次男	隠居	隔世襲名	大杉, 38	40(被)	長男は次男の家を継ぐ
安政3年	吉蔵(58)	千松(34)	長男	死亡	なし	三河, 39	41	
文久1年	銀次郎(57)	幸吉(24)	次男	死亡	なし	森, 40	42~44 (被)	
安政7年	平次郎(58)	平吉(19)	次男	死亡 (長男死亡)	なし	堀江, 41	45(被)	
嘉永6年	市太郎(53)	儀兵衛改メ 伊左衛門(36)	贅養子	隠居(長男死亡か他出)	隔世襲名	森, 42	46	
明治5年	伊左衛門(55)	倉吉(15)	次男	隠居	なし	森, 42		
嘉永6年	留之助(27)	庄五郎改メ 宋助(25)	弟	離村	隔世襲名	浪貝, 43	46~48	栄助は前年に他村の養子先からもどり継ぐ。兄留之助は後年独身のまま帰村し同居。
安政7年	直次郎(39)	初五郎(7)	長男	死亡	なし	森, 44		
文久1年	初五郎(7)	万蔵(27)	養父	母再婚	なし	森, 44	50	万蔵は1年後に娘なつを伴って離婚する。
文久2年	万蔵(28)	初五郎(9)	長男	母離婚	なし	森, 44		
明治4年	初五郎(18)	弥兵衛(25)	義兄	姉結婚	なし	森, 44		
天保10年	清助(65)	松五郎(37)	長男	隠居	なし	池上, 45		
嘉永7年	松五郎(51)	五郎次郎(29)	贅養子	死亡	なし	池上, 45	51	
明治4年	五郎次郎(46)	清吉(16)	次男	死亡 (長男死亡)	なし	池上, 45		
弘化3年	鉄五郎(16)	与七(44)	父	帰村	なし	堀江, 46		茶屋田中屋
安政6年	与七(56)	兼吉(32)	長男	死亡	なし	堀江, 46	52	
文久3年	市左衛門(84)	市太郎改メ 市左衛門(21)		死亡	襲名	早川, 47		
明治5年	市左衛門(29)	松五郎(44)	養子	死亡か離村	なし	早川, 47		
天保10年	新兵衛(67)	新五郎(29)	次男	死亡 (長男他村へ)	なし	堀江, 48		
嘉永6年	新五郎(42)	鉄五郎(23)	甥	他村へ贅養子	なし	堀江, 48		
元治1年	鉄五郎(34)	定吉(9)	長男	他村へ店借	なし	堀江, 48		
明治3~5年	松五郎 (56~58)	伊三郎 (53~55)	養子	死亡か離村	なし	大杉, 49		
文久1年	源右衛門(73)	米吉(34)	長男	死亡	なし	萩原	56(被)	
元治2年	米吉(37)	弥太郎(7)	地親の係	他村へ店借 (株式売却)	なし	萩原		
天保15年	三郎右衛門(76)	八五郎(45)	長男	死亡	なし			
弘化5年	八五郎(48)	金二郎(14)	長男	死亡	なし			

(注) 妻番号の(被)は被相統人の妻番号を意味する。

第11表 子供の動向からみたライフ・コースの諸類型(1)

形態番号	名前	1 男	2 男	3 男	4 男	5 男	6 男	7 男	1 女	2 女	3 女	4 女	5 女	6 女
A	23 はつ	江戸・武士 結婚 戸主	結婚 戸主	結婚 戸主	●16 他村	●19 他村	●19 他村		×8 他村	○26 武士	○24 他村			
	1 まさ	結婚 戸主	結婚 戸主	結婚 戸主	×23 他村	●24 他村	●19 他村		○27 他村	○24 武士	○23 他村			
	10 かね	×28 戸主	×3 結婚 戸主	●24 他村	×23 他村	●24 他村	●19 他村		○30 江戸	×20 他村	×5 他村	×1 他村	○18 他村	
	21 むい	●48 村内	×22 結婚 戸主	×23 江戸	×3 他村				×30 江戸	×28 他村	×4 他村			
	5 むい	×20 戸主	×30 結婚 戸主	●15 村内					○25 武士					
B	11 きよ	×22 結婚 戸主	結婚 戸主						×22 他村	○17 他村	○23 江戸	×28 他村	×13 他村	○21 武士
	34 しも	×6 結婚 戸主	×22 結婚 戸主						×8 他村	○26 他村	×4 他村	×1 他村	×2 他村	
	44 ふき	×5 結婚 戸主	×20 結婚 戸主	×2 江戸	×28 他村				×27 他村	○35 江戸	×33 他村			
	36 きよ	×21 結婚 戸主	×30 結婚 戸主						○22 他村	○18 他村	×4 他村			
	15 くら	×28 結婚 戸主	×24 結婚 戸主	○27 江戸					○21 他村	○19 他村	×8 他村	○18 他村		
	6 なみ	×17 結婚 戸主	×3 結婚 戸主	☆					○21 他村	○15 他村	×3 他村			
	50 たか	×2 結婚 戸主	×15 結婚 戸主	○10 他村					○18 他村	○14 他村	×3 他村	×3 他村		
	29 さの	×22 結婚 戸主	×23 結婚 戸主						○22 他村	×22 他村	×22 他村	×21 他村	×20 他村	
	24 りせ	×13 結婚 戸主	×13 結婚 戸主						×38 他村	○32 他村	×21 他村	×1 他村		
	27 てつ	×13 結婚 戸主	×13 結婚 戸主						○21 他村	○21 他村	×1 他村	×1 他村		
型	49 かね	×7,9-16 結婚 戸主	×4 結婚 戸主						●22 他村	×4 他村	○23 他村	○18 他村		
	3 リゲ	×19-72 結婚 戸主	×5 結婚 戸主	○12-59 他村	×3 他村	○8-42 他村			○24 江戸	○23 他村	○22 他村	○23 他村	○20 他村	
	4 とり	×4 結婚 戸主	×4 結婚 戸主						×21 他村	×20 他村	○22 他村	○23 他村	○20 他村	
	19 やせ	×16 結婚 戸主	×4 結婚 戸主						○21 他村	○11 他村	○22 他村	○23 他村	○20 他村	
	32 ふて	×26 結婚 戸主	×23 結婚 戸主	×4 結婚 戸主	×16 結婚 戸主	×13 結婚 戸主	×3 結婚 戸主	×3 結婚 戸主	×23 他村	×23 他村	×4 他村	×6 他村		
C	28 ちよ	×2 結婚 戸主	×3 結婚 戸主	×4 結婚 戸主	×13 結婚 戸主	×35 結婚 戸主	×3 結婚 戸主	×3 結婚 戸主	×26 他村	○24 他村	×18 他村	×8 他村		
	14 かつ	×9 結婚 戸主	×13 結婚 戸主	×1 結婚 戸主	×11 結婚 戸主	×25 結婚 戸主	×3 結婚 戸主	×5 結婚 戸主	○18 他村	○18-10029 他村	×4 他村			
	55 のぶ	×3 結婚 戸主	×20 結婚 戸主	○13 結婚 戸主	×14 結婚 戸主	×3 結婚 戸主	×5 結婚 戸主	×5 結婚 戸主	×23 他村	×6 他村	×23 他村	×4 他村	×10 他村	

9	とと	戸主 ☆7	戸主 ☆15	□4					×6	×15	□27			
45	かね	□19 結婚	☆15						×3					
22	ふさ	☆20 戸主	□17	×6					?					
54	くら	☆45 結婚	×40 (本家の戸主)						?					
39	そや	☆18 結婚	×46 (家の戸主)						?					
37	あき	☆18 結婚							?					
26	やす	☆28~80 戸主							?					
12	そめ	☆16 結婚	35	■33					?					
8	くわ	☆27 結婚							?					
31	かの	☆21~29 戸主							?					
52	しん	☆24~37 結婚							?					
13	みい								?					
33	いね								?					
7	とと	□17~66	×2	□7	□5	□3			□15	□11				
17	とと	×25	□16~68	□6					□22	□20	×4	×4		
51	とと	□19	□14						×1	×3	×23	□12		
16	えい	×35	□5						□16	×14				
38	とと	×8	×5						×2	□14				
20	つと	×10	×6	×3					×21					
53	もん	□44 戸主												
40	ひさ	×1	※19 村内						□20	×3 村内 死亡 ※3~22~24 他村 嫁入り	×6			
2	とと								×3					
35	はつ	※19~21 嫁入り	※25 村外											
25	とと	※4 村外												

(注) ●嫁入り、☆結婚、×死亡、○嫁入、?行方不明、○離村、△婚当、□同居、*養子としてもらう、■同居結婚、*相談人該当者、しかし相談人になる前に死去、①離婚

第12表 子供の動向からみたライフ・コースの諸類型(2)

形態	番号	名前	子供の数 合計 (男・女)	死亡数	生存数	生存数内訳				
						相続人	養子・養女	同居	不明	離村
A型	23	はつ	8(5・3)	2(1・1)	6(4・2)	1	3(3・0)	2		
	1	まさ	9(6・3)	2(2・0)	7(4・3)	1	3(3・0)	2	1(0・1)	
	10	かね	9(4・5)	5(2・3)	4(2・2)	1	1(1・0)	2		
	21	みよ	6(2・4)	2(0・2)	4(2・2)	1	1(1・0)	1	1(0・1)	
	5	みよ	4(3・1)	1(1・0)	3(2・1)	1	1(1・0)	1		
B型	11	きよ	7(1・6)	1(0・1)	6(1・5)	1		3	2(0・2)	
	34	しも	7(2・5)	5(1・4)	2(1・1)	1		1		
	44	ふき	※男子1人 7(4・3)	1(1・0)	6(3・3)	1		1 ※、■ 2(2・0)	2(0・2)	
	36	きよ	(3・3) 6(2・4)	1(0・1)	5(2・3)	1		3 1(1・0)		
	15	くら	6(3・3)	1(0・1)	5(3・2)	1		2		2(2・0)
	6	なみ	6(3・3)	1(1・0)	5(2・3)	2(長男は後 に江戸へ)	1(0・1)	1 1(0・1)		
	50	たか	6(3・3)	2(1・1)	4(2・2)	1		1 2(1・1)		
	29	さの	5(1・4)	0(0・0)	5(1・4)	1		3	1(0・1)	
	24	りせ	5(1・4)	1(0・1)	4(1・3)	1		1	2(0・2)	
	27	てつ	5(1・4)	0(0・0)	5(1・4)	1		1 3(0・3)		
	49	かね	5(2・3)	2(1・1)	3(1・2)	1・1★	1(0・1)			
	3	しげ	9(5・4)	2(2・0)	7(3・4)			2 5(3・2)		
	4	とり	8(3・5)	3(2・1)	5(1・4)			2 2(1・1)	1(0・1)	
	19	やそ	3(1・2)	0(0・0)	3(1・2)			1 2(1・1)		
C型	32	ふで	11(7・4)	5(3・2)	6(4・2)	1		4(3・1)	1(0・1)	
	28	ちよ	9(5・4)	4(4・0)	5(1・4)	1		4(0・4)		
	14	かつ	8(5・3)	5(3・2)	3(2・1)	2(次男は後 に離村)		1		1(0・1)
	55	のぶ	7(6・1)	3(3・0)	4(3・1)	1		2(1・1)		1(1・0)
	18	もよ	6(1・5)	5(1・4)	1(0・1)	1★				
	9	とよ	4(1・3)	2(0・2)	2(1・1)	1		1(0・1)		
	45	かね	4(3・1)	1(0・1)	3(3・0)	1		2(2・0)		
	22	ふさ	3(3・0)	1(1・0)	2(2・0)	1		1(1・0)		
	54	くら	3(2・1)	1(1・0)	2(1・1)	1			1(0・1)	

形態	番号	名前	子供の数 (合計・男・女)	死亡数	生存数	生存数内訳					
						相続人	養子・養女 養子・養女	嫁入	同居	不明	離村
C型	39	そや	3(2・1)	0(0・0)	3(2・1)	2(本家・分家)				1(0・1)	
	37	あき	3(1・2)	1(1・0)	2(0・2)	1★				1(0・1)	
	26	やす	3(1・2)	2(0・2)	1(1・0)	1					
	12	そめ	3(2・1)	0(0・0)	3(2・1)	1			1(1・0)	1(0・1)	
	8	くわ	2(1・1)	1(0・1)	1(1・0)	1					
	31	かの	2(1・1)	1(0・1)	1(1・0)	1					
	52	しん	2(1・1)	0(0・0)	2(1・1)	1				1(0・1)	
	13	みよ	2(0・2)	1(0・1)	1(0・1)	1★					
D型	33	よね	1(0・1)	0(0・0)	1(0・1)	1★					
	7	とら =まつ	7(5・2)	1(1・0)	6(4・2)				6(4・2)		
	17	よき	7(3・4)	3(1・2)	4(2・2)				4(2・2)		
	51	そめ	6(2・4)	3(0・3)	3(2・1)				3(2・1)		
	16	えい	4(2・2)	2(1・1)	2(1・1)				2(1・1)		
	38	とよ	4(2・2)	3(2・1)	1(0・1)				1(0・1)		
	20	つま	4(3・1)	4(3・1)	0						
	53	もん	1(1・0)	0(0・0)	1(1・0)						1(1・0)
E型	40	ひさ	※男子1人 5(2・3)	3(1・2)	2(1・1)				※ 2(1・1)		
	2	とよ	※女子1人 2(0・2)	1(0・1)	1(0・1)	1※★ ※相続 2長男は後 に離村					1(1・0)
	35	はつ	※男子1人 2(2・0)	0	2(2・0)						
	25	そめ	※男子1人 1(1・0)	0	1(1・0)				※ 1(1・0)		

(注) ★養子をもたらした人、■同居結婚、※養子・養女

平均	子供の数 (合計・男・女)	死亡者	生存者	生存者内訳						
				相続人	養子・養女 養子・養女	嫁入	同居	不明	離村	
A	7.2 (4・3・2)	2.4 (1.2・1.2)	4.8 (2.8・2)	1 (1・0)	1.6 (1.6・0)	1.6		0.4 (0.2・0.2)		
B	6.1 (2.3・3.8)	1.4 (0.6・0.8)	4.6 (1.6・3)	0.9 (0.8・0.1)	0.1 (0.05・0.05)	1.6	1.3 (0.6・0.6)	0.6 (0・0.6)	0.1 (0.1・0)	
C	4.2 (2.3・1.9)	1.8 (0.9・0.9)	2.4 (1.4・1)	1.1 (0.9・0.2)			0.8 (0.4・0.4)	0.3 (0・0.3)	0.2 (0.1・0.1)	
D	4.7 (2.6・2.1)	2.3 (1.1・1.1)	2.4 (1.4・1)				2.3 (1.3・1)		0.1 (0.1・0)	
E	2.5 (1.3・1.3)	1 (0.3・0.7)	1.5 (1・0.5)	0.8 (0.5・0.3)			0.8 (0.5・0.3)			
平均	5 (2.4・2.6)	1.8 (0.9・0.9)	3.2 (1.6・1.6)	0.9 (0.8・0.1)	0.2 (0.18・0.02)	0.6	1.1 (0.6・0.5)	0.3 (0.02・0.28)	0.2 (0.16・0.04)	

フ・コースの諸形態一覧表

実			家			婿			家		
父・続柄	姓	屋敷 番号	持	高		夫の父・続柄・夫名	姓	屋敷 番号	持	高	
百姓 藤右衛門 長女	堀江	6	0.4石→0.7石→0.1石			年寄次左衛門 長男 定吉 (21~61) 後名主忠左衛門と改名	森	21	1.5→2.0→0.6→1.1→1.0		
百姓 与兵衛 長女	堀江	5	9斗→8斗→1石→1石3斗			金治郎 伴 寅五郎 (28~60)	堀江	1	0.5→1.2→1.1→0.8		
下北沢村 五郎左衛門 長女	伊東					衆次郎 (27~56)	浪貝	9	0.7→0.6		
百姓九左衛門長女	森	44	0.7→1.0→0.1→0.3			龜次郎 (27~73)	森	20	1.1→1.0→0.9→1.2		
橋岡郡坂戸村 百姓龜右衛門長女	金子	2				与兵衛 伴 氏藏 (25~48)	堀江	5	0.9→0.8→1.0→1.9→1.0→1.2		
若林村 五左衛門 5女 野村村 百姓 七五郎 長女 同 上	中村					百姓 鍋吉 (32~56)	堀江	10	0.4→0.2→0.4→0.5		
	田中	8				百姓 次三郎 (29~60)	井家村	33	0.05→0.07→		
						百姓 平次郎 (25~58)	堀江	41	0.03→		
						百姓 七之助 (27~72)	小窪	35	0.4→0.7→0.4		
						百姓 権右衛門 長男 百次郎 (24~69)	浪貝	14	0.8→0.7→1.0		
						同 農閑余業佐吉 (31~46)	堀江	6	0.7→0.1		
						同 上 (後夫) 百姓 龜次郎 長男 金五郎 (49~79)	森	20	1.0→0.9→1.2		
	池上	45	0.4→0.9→0.5→0.9→1.7			舞上馬引沢村 龜次郎 弟 五郎次郎 (27~46)					
						百姓 久兵衛 吉 伴 兼次郎 (14~64)	萩原	29	0.4→0.1→0.05→		
						百姓 平七 伴 鉄五郎 (22~82)	大杉	23	0.5→0.6→		
七之助 3女	小窪	35	0.4→0.7→0.4→			百姓 折右衛門 (20~35)	浪貝	26	0.8→0.7→0.8→0.9→		
年寄 勝之助 長女	堀江	3	3.0→1.0→0.9→0.2→1.4			九左衛門 伴 直次郎 (30~39)	森	44	0.7→0.9→0.1→0.3→0.05		
百姓 源右衛門 娘	萩原		0.1→0.08 株式売却 (元治2年)			御 甚兵衛 3男 万藏 (26~?)	森	27	1.4→0.9→0.6→1.7→1.8		
百姓 吉兵衛 次女	浪貝	15	0.1→0.1			御 年寄 市郎左衛門 次男 恒次郎 (23~52)	鎌田	24	0.1→0.4→1.1→1.0		
同 上						御・分家か? 鎌ヶ谷村百姓久左衛門 伴 利右衛門 (31~71)	萩原	4	1.5→1.7→1.4		
						嘉永2年又兵衛の殊離 百姓 万次郎 3男 親次郎 (27~87)	堀江	18	夫は後に青山へ引越 0.06→0.05→		
						百姓代 晋之助 長男 部之助 (35~76)	堀江	11	0.2→0.1→0.03→		
百姓 万次郎 3女	堀江	17	2.0→0.8→1.7→2.5→3.6			金次郎 伴 茂次郎 (28~47)	飛石	31	0.3→0.2→		
下北沢村 百姓 源藏 長女	大野	8				(家号大上(おおかみ)) 百姓 惣吉 (23~84)	森	27	1.4→0.9→0.6→1.7→1.8		
同 上						百姓 庄五郎 (32~56)	萩原	13	0.4→0.6→0.5→		
上目黒村 百姓 六之丞 長女	関根					百姓平次郎・養子 御 吉五郎 (52~75)	小窪	25	0.3→0.06→		
若林村 百姓 惣八 次女	河野	8				百姓 七之助 長男 豊吉 (21~42)	小窪	35	0.4→0.7→0.1		
百姓 市太郎 長女	森	42	1.9→1.0→0.8→0.1→0.5→0.02			(家号虎嶋(うらば)) 百姓 万次郎 長男 弥五郎 (29~83)	堀江	17	0.9→2.5→0.7→1.7→2.4→3.6		
						新之助 (35~53)	浪貝	8	1.1→1.0→1.1→1.8→		
						御 百姓 辰五郎 次男 健兵衛 (28~55+?)	森	40	弘化4年伊左衛門と改名 1.9→0.9→0.5→0.4→0.02		
						龜次郎 次男 農・工 兵藏 (20~44)	森	20	1.6→1.1→0.9→1.1		
						百姓 右三郎右衛門 (38~76)	萩原		0.06→0.1→0.5→		
						百姓 佐七 (28~81)	大杉	38	0.6→0.7→		

第13表 太子堂村女性のライフ

番号	名前(改年齢)	誕生～死亡	生涯の区分			子 供		出産期間	
			成長期	結婚期	晩年期	出生数	死亡数	期 間	年数
A 型	23 はつ(75)	文化8・2・22～明治18・6・17	1～17	17～62(45)	62～75(13)	男・女 5・3	男・女 1・1	18～44	27
	1 まさ(59+α)	文化11・1・11～明治5+α	1～19	19～52(33)	52～?	6・3	1・0	20～41	22
	10 かね(83)	文化5・1・5～明治23・3・23	1～24	24～52(28)	52～83(31)	4・5	1・2	25～44	20
	21 みよ(78)	寛政10・6・1～明治8・12・27	1～17	17～63(46)	63～78(15)	2・4	0・2	18～44	27
	5 みよ(76)	文政4・12・30～明治29・5・19	1～20	20～43(23)	43～76(33)	3・1	1・0	20～30	11
B 型	11 きよ(57)	文化11・ ～明治3・6・7	1～19	19～43(24)	43～57(14)	1・6	0・0	20～39	20
	34 しも(62)	文化6・ ～明治3・1・19	1～24	24～55(31)	55～62(7)	2・5	1・4	25～38	14
	44 ふき(63)	文化2・ ～慶応3・4・11	1～22	22～55(33)	55～63(8)	3・3	1・0	23～42	20
	36 きよ(55)	享和1・ ～安政2・2・23	1～20	20～55(35)	な し	(2・4) 3・3	0・1	21～43	23
	15 くら(80)	文化5・3・10～明治20・3・4	1～19	19～63(44)	63～80(17)	3・3	0・1	20～41	22
	6 西なみ(53) 西★	文政7・7・2～明治9・10・13	1～23	① 23～27離婚後 復縁 ② 31～38(15) ③ 44～53(9)	な し	3・3	1・0	23～37	15
	50 ★たか(84)	文政12・6・24～明治45・5・25	1～23	23～42(19)	42～84(42)	3・2	1・1	24～38	15
	29 さの(65)	享和3・ ～慶応3・3・3	1～18	18～65(46)	な し	1・4	0・0	19～39	21
	24 りせ(75)	寛政8・ ～明治3・3・4	1～18	18～75(57)	な し	1・4	0・1	19～42	24
	27 てつ(56)	天保1・2・3～明治18・10・2	1～18	18～33(15)	33～56(23)	1・4		21～33	13
	49 かね(41)	文政10・ ～慶応3・	1～24	① 24～34(10) ② 34～35(2)	35～41(6)	2・2	1・1	24	
	★西					0・1		～35	12
	3 ★しげ(47)	文政10・12・10～明治6・5・27	1～20	20～47(27)	な し	5・4	2・0	20～39	20
	4 ★とり(82)	文化10・ ～明治27・2・25	1～23	23～63(40)	63～82(19)	3・5	2・0	24～41	18
	19 ★やそ 西(42+α)	天保2・7・17～明治5+α	1～20	① 20～37(17) ② 40～?		1・2	0・0	20～26	7
C 型	32 ふで(47)	文政7・ ～明治3・7・16	1～18	18～47(29)	な し	7・4	2・2	19～45	27
	28 ちょ(85)	文政9・12・25～明治42・1・9	1～22	22～83(61)	83～85(2)	5・4	3・0	22～40	19
	14 かつ(74) 西	文化13・ ～明治22・7・9	1～15	① 15～39(24) ② 45～69(14)	39～42 離婚 69～74(5)	5・3	3・1	16～39	24
	55 のぶ(42+α)	文政10・ ～慶応4年～?	1～20	20～41(21)	41～42～?	6・1	3・1	21～37	17
	18 もよ(65)	文政1・11・12～明治15・2・25	1～24	24～65(41)	な し	1・5	1・4	28～41	13
	9 とよ(76)	文化10・5・5～明治21・4・12	1～27	27～44(17)	44～76(32)	1・3	0・1	28～38	11
	45 ★かね(55+α)	文政4・2・27～明治5年+α	1～25	25～55(30) +α		3・4	0・0	25～41	17
	22 ふさ(32)	文政12・ ～万延2・5・5	1～23	23～32(9)	な し	3・0	1・0	24～29	6
	54 くら(74)	安永3・ ～弘化4・10・16	1～26	26～70(44)	70～74(4)	2・1	0・0	27～40	14
	39 そや(84)	安永2・ ～安政2・7・10	1～19	19～72(53)	72～84(12)	2・1	0・0	20～43	24

実 家			婚 家		
父・続柄	姓	屋敷	持 高	夫の父・続柄・夫名	姓 屋敷 持 高
百姓 吉五郎 次女	浪貝	9	0.7→0.6	百姓 宇左衛門 (35~64)	萩原 36 0.6→0.7→
年寄 藤兵衛 長女	堀江	3	3.2→1.0→0.2→0.4→1.0	百姓 紋之助 (33~75) 夫は妻やすのいなくな った後再婚	小窪 25 0.3→0.06→
宮内村				年寄 喜之助 (20~64)	堀江 11 0.2→0.1→0.03→
百姓 新兵衛 長女				清五郎 (24~59)	堀江 7 0.3→0.8→0.7→0.7
				百姓 伝藏 伴 安五郎 (30~73)	萩原 30 1.4→1.5→1.7→
				他 所	
百姓 吉五郎 長女	浪貝	8	1.1→1.3→1.8→2.1	百姓 源右衛門の 後妻 (53~73)	萩原 0.1→0.8→0.08→0.1
等々力村				百姓 松五郎 (25~89)	堀江 12 1.3→0.8→0.9→1.4
百姓 安兵衛 長女				百姓 利左衛門 伴, 天保1年に理左衛門襲名 農・商 理左衛門 (27~61)	萩原 32 0.1→0.07→0.1→
上目黒村	長崎	206		清五郎	堀江 7 0.8→0.7→0.7
百姓 安兵衛 長女	堀江	17	0.9→2.0→0.7→1.3→2.2→3.6	長男 虎五郎 (27~75)	堀江 16 0.9→0.8→0.2→0.3→0.1→
百姓 万次郎 4女	金子			次男 勇次郎 (23~75)	堀江 46 0.09→0.3→0.8→1.0→0.6
芝・新町12番地借店 勝五郎 次女				名主 与十郎 安政5年与十郎を襲名 「田中屋」	浪貝 15 0.1→0.3→0.1→0.2
下沼部村				農・商 兼吉 (27~76)	堀江 37 0.3→0.6→0.7→
仙藏 次女				吉兵衛 養子 七五郎 (34~74)	堀江 17 0.7→1.3→1.7→2.2
代々木村				百姓 熊次郎 (43~50)	神田 19 0.5→0.2→0.5→0.2
五郎右衛門 3女				後夫 佐右衛門 (30~?)	萩原 0.04→0.03→断絶
百姓 熊次良 (43~50)	浪貝	37	0.3→0.6→0.7→	次兵衛 長男 久藏 (22~78)	三河 39 0.02→
野沢村				百姓 藤次郎 (17~68)	堀江 2 1.0→1.1→1.4→1.8
百姓 吉兵衛 3女				吉藏 長男 仙松 (33~72)	堀江 34 0.8→1.0→2.0→1.7→2.0
上馬引沢村	中山			吉兵衛 長男 孝次郎 (22~62)	鎌田 24 0.0822→0.43→0.11→ 0.4007→0.69→1.1010
磯八 3女	遠藤			百姓・商 久太郎 伴 常次郎 (28~77)	
船橋村				百姓 市郎左衛門 伴 藤次郎 (31~51)	
百姓 幸次郎 次女					
下北沢村					
百姓 猪五郎 3女					
世田谷村(百姓)元 右衛門 3女					

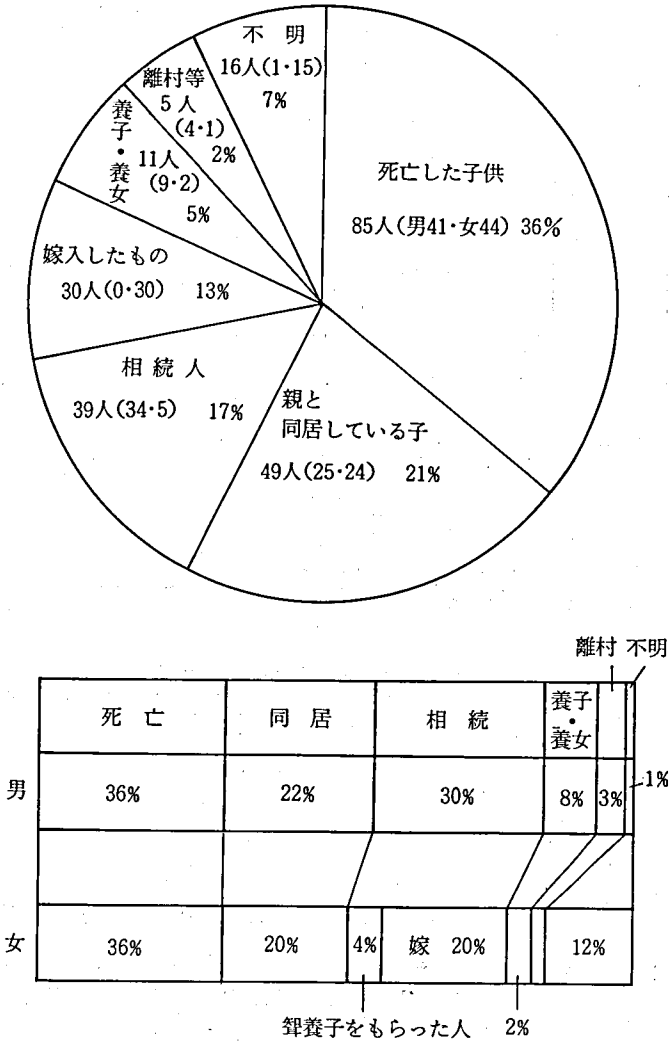
番号	名前(没年齢)	誕生 ~ 死亡	生涯の区分			子 供		出産期間	
			成長期	結婚期	晩年期	出生数	死亡数	期 間	年数
C 型	37 あき(52)	文化8・ ~ 文久2・9・24	1~25	25~52 (27)	な し	男・女 1・2	男・女 1・0	26~37	12
	26 やす(31+α)	文政7・ ~ 安政2+α	1~17	17~31 (15)		1・2	0・2	18~24	7
	12 そめ(67)	文化9・6・6~明治11・	1~24	24~67 (43)	な し	2・1	0・0	25~31	7
	8 くわ(78)	文化1・6・10~明治14・3・30	1~25	25~59 (34)	59~78 (19)	1・1	0・1	26~37	12
	31 か(66)	文化4・ ~ 明治5・8・10	1~27	27~66 (39)	な し	1・1	0・1	28~29	2
	52 しん(59)	寛政11・ ~ 安政4・12・21	1~	① ? ② 42~59 (17)	な し	1・1	0・0	30~36	7
	13 みよ(77)	寛政10・9・10~明治7・11・27	1~18	18~77 (59)	な し	0・2	0・1	19~38	20
D 型	33 よね(71)	文化4・10・18~明治10・6・22	1~17	27~48 (21)	48~71 (23)	0・1	0・0	28	1
	7 とら(84) (改名まつ)	天保1・3・11~大正2・3・5	1~26	26~74 (48)	74~84 (10)	5・2	1・0	27~41	15
	17 よき(64)	文政12・12・2~明治22・5・25	1~20	20~64 (44)	な し	3・4	0・2	20~39	20
	51 そめ(46+α)	文政10・10・10~明治5年+α	1~28	28~46~?		2・4	0・2	25~35	8
	16 えい(61)	天保7・4・8~明治29・3・2	1~22	22~61 (39)	な し	2・2	0・0	22~33	12
	38 とよ(38+α) ④★	文政5・6・7~	1~27	① 27~38 (11) ② 38~?	?	2・0	2・0	28	
	20 つま(86)	文化14・11・15~明治35・7・28	1~19	19~75 (56)	75~86 (11)	3・1	3・1	20~37	18
E 型	53 もん(72)	天明3・ ~ 安政7・	1~22	22~72 (50)	な し	1・0	0・0	23	1
	40 ひき(38)	天保10・3・19~明治9・8・25	1~17	17~38 (21)	な し	0・4	0・3	19~30	12
	2 とよ(77)	文化9・9・10~明治21・5・30	1~24	24~64 (40)	64~77 (13)	0・1	0・1	42	1
	35 はつ(59)	文化12・8・19~明治7・2・20	1~22	22~59 (37)	な し	1・0	0・0	28	1
	25 そめ(63)	文政10・6・16~明治22・6・21	1~26	26~56 (30)	56~63 (7)	0	0	0	

(注) ★ 養子, ④ 離婚, ④ 再婚, . を意味する。

第14表 ライフ・コース諸類型の集計

	名前(没年齢)	誕生 ~ 死亡	生涯の区分			子 供		出産期間	
			成長期	結婚期	晩年期	出生数	死亡数	期 間	年数
平 均	A 型 5人(78.0)	1 ~ 78.0	1~19.4	(35) 19.4~54.4	(23.3) 54.4~78	男・女 4・3.2	男・女 0.8・1	20.2~ 40.6	21.4
	B 型 14人(63.1)	1 ~ 63.1	1~20.4	(33.7) 20.4~54.2	なし4人 (18.6) 54.2~69.1	2.3・3.6	0.6・0.6	21.6~ 38.1	17.4
	C 型 18人(67.1)	1 ~ 67.1	1~22.1	(34.1) 22.7~56.9	なし7人 未詳2人 (15.3) 56.9~78.3	2.3・2.1	0.8・0.8	23.9~ 36.3	13.3
	D 型 7人(73.4)	1 ~ 73.4	1~22.8	(47.4) 22.8~69.2	なし3人 (10.5) 69.2~85	2.6・2.1	0.9・0.9	24~ 34.3	11.1
	E 型 4人(59.3)	1 ~ 59.3	1~22.3	(32) 22.3~54.3	なし2人 (10) 54.3~70	0.3・1.3	0・1	29.7~ 33.3	4.7
全 平 均	41人(66.9)	1 ~ 66.9	1~21.7	(35.6) 21.7~57.1	(17) 57.1~75	2.4・2.6	0.7・0.8	23.2~ 36.7	14.5

第1図 子供達の生涯の形態



第2図 村内婚姻関係図

